

現代英語学科 シラバスの変更一覧

学年	頁	開講科目
1年	8	日本語表現法
1年	9	言語学基礎
1年	12	情報処理 I
1年	14	Oral Communication I
1年	16	Oral Communication I
1年	22	Listening I
1年	24	Listening I
1年	30	Reading & Vocabulary I
1年	32	Reading & Vocabulary I
1年	38	Grammar & Composition I
1年	40	Grammar & Composition I
2年	70	東北学
2年	71	歴史と文化
2年	72	暮らしの中の法律
2年	73	現代の社会
2年	75	Oral Communication III
2年	77	Oral Communication III
2年	79	Media English
2年	83	英語文学講読
2年	84	English for Tourism
2年	86	Drama English
2年	87	マーケティング
2年	88	観光ビジネス論
2年	97	英語特別演習 II
2年	98	英語特別演習 II

学修成果	1	2	3	4	5	科目ナンバリング			
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力	CO-0-HCU-01			
	●		●	●					
科目名	日本語表現法				単位 認定者	徳田 幸雄		授業内課題 (チェックテスト)	100 %
対象学科 必修・選択 配当年次	現代英語学科	必修	1年	開講時期	前期	単位数	2 単位	評価の 方法	
					授業形態	講義	授業時間数		30 時間
						授業回数	15 回		
授業の概要	書き言葉と話し言葉における日本語運用の基本を学び、論理的なコミュニケーションの手段である言語表現を効果的に実現する基礎能力を養う。まず日本語の特徴的な知識について学び、日本語運用の基本を身に付ける。その上で、書き言葉・話し言葉等の様々な表現行為に触れ、自らも表現し、相手に伝わる表現について実践的理解を深める。具体的な場面での適切な表現方法を実際に考えることで、大学や社会で必要となる日本語表現の様々なスキルを獲得することを目指す。								
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> 日常生活において、適切な言葉で表現・伝達できる力を身につける。 相手が発するメッセージを受け止めながら、場面に応じた会話ができるようになる。 目的に合わせた文章(文書)作成ができるようになる。 								
学修者への期待等	日本語を知ることとは日本文化を知ることでもある。社会人のための教養という面だけではなく、自らの文化を再認識・再評価し、さらには自身のルーツを見つめ直す機会としてもらいたい。								
回	授業計画				準備学修				
1	ガイダンス 世界から見た日本語の特徴				日本語と英語との相違を考えてみよう。(10分程度)				
2	日本語の歴史				前回のチェック・テストの復習。(10分程度)				
3	ことばと表現①(熟語、語句)				前回のチェック・テストの復習。(10分程度)				
4	ことばと表現②(ことわざ、故事成語)				前回のチェック・テストの復習。(10分程度)				
5	敬語表現①(敬語の基本)				前回のチェック・テストの復習。(10分程度)				
6	敬語表現②(尊敬語と謙譲語)				前回のチェック・テストの復習。(10分程度)				
7	修飾語と被修飾語との関係①名詞、動詞、述語								
8	修飾語と被修飾語との関係②生身のアイドルが完全に職を奪われる日								
9	句読点の打ち方				前回のチェック・テストの復習。(10分程度)				
10	テンの練習・河北春秋①読書週間				前回のチェック・テストの復習。(10分程度)				
11	テンの練習・河北春秋②ひきこもり				前回のチェック・テストの復習。(10分程度)				
12	テンの練習・河北春秋③児童虐待				前回のチェック・テストの復習。(10分程度)				
13	テンの練習・河北春秋④高齢ドライバー								
14	テンの練習・河北春秋⑤100の診療所よりも1本の水路が必要								
15	文章の構成								
教科書	プリントを配布する。								
参考文献	「日本語の作文技術(朝日文庫)」本多勝一著(朝日新聞出版) 「大学生のための日本語表現実践ノート」米田明美他著(風間書房)								
備考	進捗状況や理解度に応じ、順序や内容を変更する場合がある。								
※以下は該当者のみ記載する。 実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)									

学修成果	1	2	3	4	5	科目ナンバリング				
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力	CE-0-HCU-01				
●	●	●			●					
科目名	言語学基礎				単位認定者	鎌田 幸雄		課題レポート	80 %	
対象学科 必修・選択 配当年次	現代英語学科	必修	1年	開講時期	前期	単位数	2 単位	評価の方法	授業態度	20 %
							授業時間数		30 時間	
				授業形態	講義	授業回数	15 回			
授業の概要	人間にとって「ことば」とは如何なるものであるのかについて、言語学的観点からの概観を学ぶ。言語学にはその研究目標により様々な立場があるが、本科目では、特に一つの立場に偏ることなく、言語学全般に関する基本的概念を、主として英語や日本語の実例を見ながら、具体的に理解を深め、言語が誰にとっても身近で重要な存在であることを認識することが目標となる。講義前半では「ことば」の内部構造について「音声・音韻」、「形態」、「文」、「意味」の4つの側面に分けて考察し、理解を深める。後半では、「ことば」と「社会」との関係について、言語の社会的機能、言語の多様性、多言語使用、方言と標準語、公用語等の様々な観点から学ぶ。最後にそれまでの講義内容を前提とし、日本語の歴史についての概観を学ぶ。									
到達目標	言語学全般に関する基本的概念を理解する。 身近な言語表現を言語学的立場から分析することができる。									
学修者への期待等	この講義の目的は、普段何気なく無意識的に使用している「ことば」について、一歩下がった位置から客観的・意識的に考察することによって、「ことば」の重要性や奥の深さについて考える機会を与えることにあります。この講義を通して英語をより深く学ぶための基礎を身につけてほしい。									
回	授業計画				準備学修					
1	ことばの様々な研究法 ことばを研究する際の代表的な研究方法について概説する。				普段「ことば」をどのように使用しているか考えてみよう。また、そもそも「ことば」とは何なのかについて考えてみよう。(概ね1時間)					
2	ことばの構造(1) 言語音の構造 ことばの音声的構造を概説する。音声器官、音素、異音、音声学と音韻論の立場の違い等。				「ことば」の音声的側面について考えてみよう。(概ね30分)					
3	ことばの構造(2) 語の構造 ことばの重要な単位である「語」について、形態論的分析法を概説する。語類、形態素、語形成、語形変化、文法範疇等。				「語」とは何であるのか考えてみよう。(概ね30分)					
4	ことばの構造(3) 文の構造 文の構造の分析法について概説する。階層構造、直接構成素、句構造、語順、類型論等。				「文」とは何であるのか考えてみよう。(概ね30分)					
5	ことばの構造(4) 意味の構造 ことばの意味的側面についてその分析法を概説する。意味の意味、意味の場、意味の関係等。				「意味」とは何であるのか考えてみよう。(概ね30分)。 「ことばと構造(1)~(4)」の中で関心を持ったテーマについて調べ、レポートを提出する(第一回目)。					
6	ことばとその外部(1) 固有名について 言語とその外部の接点にあたる「固有名」について考える。人名：人名の多様性、英米人の人名等				人の「名前」とは何であるのか考えてみよう。(概ね1時間)					
7	ことばとその外部(2) 固有名について 言語とその外部の接点にあたる「固有名」について考える。地名：地名の命名法、英米の地名等				「地名」とは何であるのか考えてみよう。身近な場所についてその地名の由来について調べてみよう。(概ね1時間)。 自分の名前の由来について調べ、レポートを提出(第二回目)。					
8	ことばと社会(1) 言語の社会的機能 文化としての言語、言語の恣意性、サピア・ウォーフの仮説、アイディンティティーとしての言語、言語と民族等				自分の名前の由来について調べ、レポートを提出(第二回目)。 「ことば」が社会の中でどのような役割を担っているのかについて考えてみよう。(概ね1時間)					
9	ことばと社会(2) 言語の多様性 言語接触、ピジンとクリオール、多言語社会とその類型、多言語社会とその歴史的起源、単一言語社会等				「ことば」が社会の中でどのように使用されているのかについて考えてみよう。話し言葉と書き言葉の違いについて考えてみよう。(概ね1時間)					
10	ことばと社会(3) 公用語とは何か 方言と標準語、国家と標準語、言語教育、国際語、言語政策等				方言とは何か、標準語とは何か、公用語とは何かについて考えてみよう。(概ね1時間)					
11	ことばと社会(4) 英語史概観 被征服言語/征服言語としての英語、英国の階級社会と英語、米国フェミニズム運動と英語等。				英語の歴史について調べてみよう。(概ね1時間)。「ことばと社会(1)~(4)」の中で関心を持ったテーマについて調べ、レポートを提出(第三回目)。					
12	日本語の歴史(1) 日本語の起源・系統 日本語の起源・系統についての諸説を概観する。同祖論と重層論等				日本語の起源や系統について調べてみよう。(概ね1時間)					
13	日本語の歴史(2) 上代から近世まで 上代から近世までの日本語の歴史を概観する。日本語の表記の歴史、借用語・翻訳語等				日本語の表記法について調べてみよう。(概ね1時間)					
14	日本語の歴史(3) 明治維新から日露戦争まで 明治維新から日露戦争までの日本語の近代化を概観する。言文一致運動、近代化の過程の文字問題等				日本の近代化と日本語の近代化について調べてみよう。(概ね1時間)					
15	日本語の歴史(4) 戦前・戦後の言語政策 植民地における言語政策、戦後の言語政策、現代日本語の語種とその比率等				戦前の日本の植民地における言語政策について調べてみよう。(概ね1時間)。「日本語の歴史(1)~(4)」の中で関心を持ったテーマについて調べ、レポートを提出する(第四回目)。					
教科書	特に指定しません。毎回その日のテーマに関するプリントを配布します。									
参考文献	講義の際にその都度紹介します。									
備考	成績評価は課題レポート4回(80%)と授業態度(20%)にもとづき、総合的に判断する。									
※以下は該当者のみ記載する。										
実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)										

学修成果	1 基礎力	2 実践力	3 人間関係力	4 生涯学習力	5 地域理解力
	●	●		●	

科目ナンバリング
CO-0-HSC-01

科目名	情報処理 I				単位 認定者	杉崎 新一		評価の 方法	授業内課題	40	%
対象学科 必修・選択 配当年次	現代英語学科	必修	1年	開講時期	後期	単位数	1 単位		試験 (レポート)	30	%
						授業時間数	30 時間		受講態度	30	%
				授業形態	演習	授業回数	15 回				
授業の概要	現代のコミュニケーションツールとして重要な位置を占めるパソコンを用いて、文書作成やデータ処理など情報伝達・発信方法の基礎を学ぶ。加えて、パソコンをコミュニケーションツール、ビジネスツールとして活用する能力を養う。また、パソコンを使う者のマナー、情報保護の意識等も学修する。										
到達目標	コンピュータ操作の初学者が操作を修得し、Word・Excel・PowerPointの一般的な操作が出来ることを目標とする。										
学修者への 期待等	コンピュータの基本的な操作から学修を行う。初学者及び操作が苦手な者は、これを機に操作が出来るように学修していただきたい。これまでにコンピュータの操作を経験し、操作が出来る者であっても、自己流の操作を行う者が多いので、初心に戻り学修に臨んでいただきたい。授業を休むと操作がわからなくなり、次回以降の授業にも影響するため注意すること。										
回	授業計画					準備学修					
1	コンピュータの基本知識と情報セキュリティ。画面の操作。Word：Wordの立ち上げと基本操作					授業で学んだ操作内容を復習し、次回までに確実に操作できるようにすること。また、授業時間内に完成しなかった課題は次回の授業までに完成をしておくこと。復習時間は30分～1時間程度だが初学者は10分でもよいのでタイピング練習を週2回以上行うこと。					
2	Word：文書の作成と印刷・ページ設定、ファイルの保存										
3	Word：表の作成										
4	Word：文書の編集										
5	Word：クリップアートの使用による表現力アップ										
6	Word：ワードアートの使用による表現力アップ										
7	PowerPoint：プレゼンテーションの操作と作成										
8	PowerPoint：効果的なプレゼンテーションの作成										
9	Excel：Excelの基本操作と簡単な表作成、ブックの保存										
10	Excel：表作成（関数の使用、罫線や塗りつぶし、セルの書式設定）										
11	Excel：表作成（行や列、セル設定）、表の印刷設定										
12	Excel：相対参照と絶対参照の設定、色々な数式の使用										
13	Excel：さまざまな関数の使用										
14	Excel：グラフ作成										
15	Word, Excel, PowerPointの連携操作										
教科書	「30時間アカデミック 情報リテラシー-Office2013」 杉本くみ子/吉田栄子 実教出版										
参考文献	進行に応じて適宜プリントを配布する。										
備考	授業ではPC教室の授業支援システム「SkyClasses」を使用して教員のPC操作を各自のPCに画面を送信して授業の解説を行う。苦手な者はその中で操作を覚えるようにすると良い。また、課題データの保存及び持ち帰りのためUSBメモリ（他の科目と共用で安価なもので良い）を準備すること。 なお、本科目は2クラスに分けて実施します。										

※以下は該当者のみ記載する。

実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)

PCの使用に関する各種問い合わせ、情報システム全般及びネットワークに関する管理、ワード・エクセル等オフィスソフトの使用相談・指導。

学修成果	1	2	3	4	5	科目ナンバリング				
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力	CE-1-EBA-01				
	●	●	●							
科目名	Oral Communication I				単位認定者	ジョーンズ ドミニク		授業内課題	70 %	
対象学科 必修・選択 配当年次	現代英語学科	必修	1年	開講時期	前期	単位数	2 単位	評価の方法	受講態度	30 %
					授業形態	演習	授業時間数		60 時間	
							授業回数		30 回	
授業の概要	<p>本科目の目的は、ネイティブスピーカーと日常的にコミュニケーションを取ることに慣れ、状況に応じ躊躇することなく発話し、会話を維持するスキルを身につけることである。パターンプラクティス等により定型表現を習得し、相手とのコミュニケーションを図れるようになる。国際共通語である英語には、話者の出身地によって発音のバラエティが存在することを理解し、ペアワークを通して、自分の発音に自信を持ち、積極的に英語で会話ができるようになることを企図する。</p>									
到達目標	<p>将来のキャリアと継続教育に役立つような英語を駆使する自信をつけ、コミュニケーションに役立つ語彙や表現を修得する。</p>									
学修者への期待等	<p>授業には、テキスト、辞書（言語の学修に辞書は必須）、ノート、ファイル（授業で渡されたプリント等を整理できるもの）を必ず持参すること。また、授業の前に必ず予習しておくこと。具体的には、次の授業で学ぶであろう章に目を通し、分からない語彙があれば辞書で調べておくこと。Online WorkbookやAudio, visual material, できるだけ抵抗や苦勞なく内容理解が進められるようにしてください。</p>									
回	授業計画				準備学修					
1	ユニット 1 (1) Introductions and relationships				「紹介」の予習:概ね30分。					
2	ユニット 1 (2) Introductions and relationships Introducing yourself									
3	ユニット 1 (3) Introductions and relationships Exchange information									
4	ユニット 1 (4) Introducing yourself 発表 準備				プレゼンテーションの準備: 概ね30分。					
5	ユニット 1 (5) Introducing yourself 発表									
6	ユニット 2 (1) Feelings and emotions Describe your feelings				「感情」の予習:概ね30分。					
7	ユニット 2 (2) Feelings and emotions Ask about your partner's feelings									
8	ユニット 2 (3) Introduce family 発表 準備				プレゼンテーション準備: 概ね30分。					
9	ユニット 2 (4) Introduce family 発表									
10	ユニット 1, 2 復習				疑問点などを質問できるように整理しておくこと: 概ね30分。					
11	ユニット 3 (1) Making recommendations Talk about a trip				「お勧め」の予習:概ね30分。					
12	ユニット 3 (2) Making recommendations Make recommendations									

回	授業計画	準備学修
13	ユニット 3 (3) Describe personal schedule 発表 準備	プレゼンテーションの準備：概ね30分。
14	ユニット 3 (4) Describe personal schedule 発表	
15	ユニット 4 (1) Sharing Opinions Express agreement and disagreement	「意見」の予習：概ね30分。
16	ユニット 4 (2) Sharing Opinions Ask about your partner's opinions	
17	ユニット 4 (3) Share opinions 発表 準備	プレゼンテーションの準備：概ね30分。
18	ユニット 4 (4) Share opinions 発表	
19	ユニット 3, 4 復習	疑問点などを質問できるように整理しておくこと：概ね30分
20	ユニット 5 (1) Giving excuses and requests Make requests	「言い訳や要望」の予習：概ね30分。
21	ユニット 5 (2) Giving excuses and requests Make excuses	
22	ユニット 5 (3) Accept and refuse offers 発表 準備	プレゼンテーションの準備：概ね30分。
23	ユニット 5 (4) Accept and refuse offers 発表	
24	ユニット 6 (1) Your culture Talk about traditions	「文化」の予習：概ね30分。
25	ユニット 6 (2) Your culture Talk about symbols	
26	ユニット 6 (3) Your friend's culture 発表 準備	プレゼンテーションの準備：概ね30分。
27	ユニット 6 (4) Your friend's culture 発表	
28	ユニット 5, 6 復習	疑問点などを質問できるように整理しておくこと：概ね30分
29	ファイナルプレゼンテーション 準備	プレゼンテーションの準備：概ね30分。
30	ファイナルプレゼンテーション 発表	
教科書	English Firsthand 2 with MyMobileWorld (5th Ed). Marc Helgesen, John Wiltshier, Steven Brown. Pearson	
参考文献	特になし	
備考	内容の進捗によってシラバスの内容を変更することがあります。	

※以下は該当者のみ記載する。

実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)

--

学修成果	1	2	3	4	5	科目ナンバリング				
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力	CE-1-EBA-01				
	●	●	●							
科目名	Oral Communication I				単位認定者	スミス アンソニー		小テスト	80 %	
対象学科 必修・選択 配当年次	現代英語学科	必修	1年	開講時期	前期	単位数	2 単位	評価の方法	受講態度	20 %
					授業形態	演習	授業時間数		60 時間	
						授業回数	30 回			
授業の概要	<p>本科目の目的は、ネイティブスピーカーと日常的にコミュニケーションを取ることに慣れ、状況に応じ躊躇することなく発話し、会話を維持するスキルを身につけることである。パターンプラクティス等により定型表現を習得し、相手とのコミュニケーションを図れるようになる。国際共通語である英語には、話者の出身地によって発音のバラエティが存在することを理解し、ペアワークを通して、自分の発音に自信を持ち、積極的に英語で会話ができるようになることを企図する。</p>									
到達目標	<p>将来のキャリアと継続教育に役立つような英語を駆使する自信をつけ、コミュニケーションに役立つ語彙や表現を修得する。</p>									
学修者への期待等	<p>授業には、テキスト、辞書（言語の学修に辞書は必須）、ノート、ファイル（授業で渡されたプリント等を整理できるもの）を必ず持参すること。また、授業の前に必ず予習しておくこと。具体的には、次の授業で学ぶであろう章に目を通し、分からない語彙があれば辞書で調べておくこと。</p>									
回	授業計画				準備学修					
1	Introductions <i>I'm an education major.</i>				Dialogue and Key Expressions おおむね30分。					
2	Introductions <i>I'm an education major.</i> Focus on Grammar: Be 動詞				Practice for Accuracy 1st Listening and 2nd Listening おおむね30分。					
3	Friends <i>She looks like your twin !</i>				Dialogue and Key Expressions おおむね30分。					
4	Friends <i>She looks like your twin !</i> Focus on Grammar: 自動詞/他動詞				Practice for Accuracy 1st Listening and 2nd Listening おおむね30分。					
5	Hometown <i>Have you ever been there?</i>				Dialogue and Key Expressions おおむね30分。					
6	Hometown <i>Have you ever been there?</i> Focus on Grammar: 現在完了形				Practice for Accuracy 1st Listening and 2nd Listening おおむね30分。					
7	Weekend Activities <i>How was your weekend?</i>				Dialogue and Key Expressions おおむね30分。					
8	Weekend Activities <i>How was your weekend?</i> Focus on Grammar: 疑問詞				Practice for Accuracy 1st Listening and 2nd Listening おおむね30分。					
9	Eating Out <i>I'd like the grilled salmon, please.</i>				Dialogue and Key Expressions おおむね30分。					
10	Eating Out <i>I'd like the grilled salmon, please.</i> Focus on Grammar: 可算名詞/不可算名詞				Practice for Accuracy 1st Listening and 2nd Listening おおむね30分。					
11	Free Time Activities <i>Hiking is my favorite way to relax.</i>				Dialogue and Key Expressions おおむね30分。					
12	Free Time Activities <i>Hiking is my favorite way to relax.</i> Focus on Grammar: 不定詞/動名詞				Practice for Accuracy 1st Listening and 2nd Listening おおむね30分。					

回	授業計画	準備学修
13	Sports <i>Who's the guy sitting on that bench?</i>	Dialogue and Key Expressions おおむね30分。
14	Sports <i>Who's the guy sitting on that bench?</i> Focus on Grammar:現在分詞/過去分詞	Practice for Accuracy 1st Listening and 2nd Listening おおむね30分。
15	Health <i>You should go back to your dorm and rest.</i>	Dialogue and Key Expressions おおむね30分。
16	Health <i>You should go back to your dorm and rest.</i> Focus on Grammar:助動詞	Practice for Accuracy 1st Listening and 2nd Listening おおむね30分。
17	Transportation <i>I was caught in a traffic jam.</i>	Dialogue and Key Expressions おおむね30分。
18	Transportation <i>I was caught in a traffic jam.</i> Focus on Grammar:受動態	Practice for Accuracy 1st Listening and 2nd Listening おおむね30分。
19	My Place <i>It's about seven minutes by bike.</i>	Dialogue and Key Expressions おおむね30分。
20	My Place <i>It's about seven minutes by bike.</i> Focus on Grammar:前置詞	Practice for Accuracy 1st Listening and 2nd Listening おおむね30分。
21	Vacation Plans <i>What are you going to do?</i>	Dialogue and Key Expressions おおむね30分。
22	Vacation Plans <i>What are you going to do?</i> Focus on Grammar:will/ be going to	Practice for Accuracy 1st Listening and 2nd Listening おおむね30分。
23	Travel <i>What's the most interesting place to visit?</i>	Dialogue and Key Expressions おおむね30分。
24	Travel <i>What's the most interesting place to visit?</i> Focus on Grammar:比較級/最上級	Practice for Accuracy 1st Listening and 2nd Listening おおむね30分。
25	Shopping <i>I'm looking for a suit that looks good.</i>	Dialogue and Key Expressions おおむね30分。
26	Shopping <i>I'm looking for a suit that looks good.</i> Focus on Grammar:関係代名詞	Practice for Accuracy 1st Listening and 2nd Listening おおむね30分。
27	Careers <i>I want to work for a company where...</i>	Dialogue and Key Expressions おおむね30分。
28	Careers <i>I want to work for a company where...</i> Focus on Grammar:関係副詞	Practice for Accuracy 1st Listening and 2nd Listening おおむね30分。
29	Wishes <i>If I had a scholarship...</i>	Dialogue and Key Expressions おおむね30分。
30	Wishes <i>If I had a scholarship...</i> Focus on Grammar:仮定法	Practice for Accuracy 1st Listening and 2nd Listening おおむね30分。
教科書	「Taking Action ディクトグロスで学ぶコミュニケーション英文法」山本成代 Kelly Kimura 金星堂	
参考文献	特になし	
備考		

※以下は該当者のみ記載する。

実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)

--

学修成果	1	2	3	4	5	科目ナンバリング				
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力	CE-1-EBA-03				
	●	●	●							
科目名	Listening I				単位 認定者	小松 義隆		評価の 方法	授業内課題	70 %
対象学科 必修・選択 配当年次	現代英語学科	必修	1年	開講時期	前期	単位数	2 単位		受講態度	30 %
				授業形態	演習	授業時間数	60 時間			
						授業回数	30 回			
授業の概要	<p>本科目は、国際共通語である英語に、多くの地域による発音の変種が存在することを理解し、それぞれの発音の特徴を捉え、聴き取り能力を向上させることを目的とする。具体的には、音声学の知識を基に、英語の音を聴き分け、音の同化や消失、渡り音などについて理解し、正しく聴き取れるようになる。</p> <p>さらにディクテーションを行い、英語の強弱、リズムを的確に拾い、内容理解の正確さを高める。自身が発話する際にもこれらの英語の特性を意識した発話になるように、リピート練習等を取り入れる。場面による特有の会話表現も学習し、会話力向上につなげる。</p>									
到達目標	<p>基礎的なリスニング力を身につけ、日常会話の際に相手の意図が理解できる。又、自分の意思を相手に分かりやすい発音やイントネーションで話すことができるようになる。</p>									
学修者への期待等	<p>カンヌ国際広告賞を受賞したTVコマーシャルを題材に扱ったテキストを採用する。約30秒という時間の中に効果的なメッセージを込めたTVコマーシャルはリスニング素材としても非常に有用である。内容の理解にはPreliminary (予備知識) も必要になる。予習段階で該当する章のテーマに関しての理解を深め、必要に応じて周辺知識の調査をしておくこと。</p>									
回	授業計画					準備学修				
1	本授業の進め方について、予習、復習、評価についての説明。 Unit1- Meijer - Higher Standards, Lower Prices① 1. Preliminary Reading ~ 3. Reading Comprehension					Unit 1 TV Commercialの視聴 テキストUnit1対応箇所の予習 (概ね1時間程度)				
2	Unit1- Meijer - Higher Standards, Lower Prices② Task for TV Commercials No.1 and No.2 4. Vocabulary Preview ~ 9.Utilizing Useful Word and Phrases					テキストUnit1対応箇所の予習 (概ね1時間程度)				
3	Unit2 - This Calls for a Bud Light① 1. Preliminary Reading ~ 3. Reading Comprehension					Unit 2 TV Commercialの視聴 テキストUnit2対応箇所の予習 (概ね1時間程度)				
4	Unit2 - This Calls for a Bud Light② Task for TV Commercials 4. Vocabulary Preview ~ 9.Utilizing Useful Word and Phrases					テキストUnit2対応箇所の予習 (概ね1時間程度)				
5	Unit3 - Anti-Discrimination Campaign① 1. Preliminary Reading ~ 3. Reading Comprehension					Unit 3 TV Commercialの視聴 テキストUnit3対応箇所の予習 (概ね1時間程度)				
6	Unit3 - Anti-Discrimination Campaign② Task for TV Commercials 4. Vocabulary Preview ~ 10.Utilizing Useful Word and Phrases					テキストUnit3対応箇所の予習 (概ね1時間程度)				
7	Unit4 - McDonald's-King of Fast-Food Restaurant① 1. Preliminary Reading ~ 3. Reading Comprehension					Unit 4 TV Commercialの視聴 テキストUnit4対応箇所の予習 (概ね1時間程度)				
8	Unit4 - McDonald's-King of Fast-Food Restaurant② Task for TV Commercials No.1 and No.2 4. Vocabulary Preview ~ 9.Utilizing Useful Word and Phrases					テキストUnit4対応箇所の予習 (概ね1時間程度)				
9	Unit5 - Relax, it's FedEx.① 1. Preliminary Reading ~ 3. Reading Comprehension					Unit 5 TV Commercialの視聴 テキストUnit5対応箇所の予習 (概ね1時間程度)				
10	Unit5 - Relax, it's FedEx.② Task for TV Commercials No.1 and No.2 4. Vocabulary Preview ~ 9.Utilizing Useful Word and Phrases					テキストUnit5対応箇所の予習 (概ね1時間程度)				
11	Unit6 - BMW-A Car beyond Reason① 1. Preliminary Reading ~ 3. Reading Comprehension					Unit 6 TV Commercialの視聴 テキストUnit6対応箇所の予習 (概ね1時間程度)				
12	Unit6 - BMW-A Car beyond Reason② Task for TV Commercial 4. Vocabulary Preview ~ 9.Utilizing Useful Word and Phrases					テキストUnit6対応箇所の予習 (概ね1時間程度)				

回	授業計画	準備学修
13	Unit7 - Banking for the Filthy Rich① 1. Preliminary Reading ~ 3. Reading Comprehension	Unit 7 TV Commercialの視聴 テキストUnit7対応箇所の予習 (概ね1時間程度)
14	Unit7 - Banking for the Filthy Rich② Task for TV Commercials No.1 and No.2 4. Vocabulary Preview ~ 9.Utilizing Useful Word and Phrases	テキストUnit7対応箇所の予習 (概ね1時間程度)
15	Unit1-Unit7の総まとめ	今までに学修したことを復習すること。 (概ね1時間程度)
16	Unit8 - Learning Languages① 1. Preliminary Reading ~ 3. Reading Comprehension	Unit 8 TV Commercialの視聴 テキストUnit8対応箇所の予習 (概ね1時間程度)
17	Unit8 - Learning Languages② Task for TV Commercial 4. Vocabulary Preview ~ 9.Utilizing Useful Word and Phrases	テキストUnit8対応箇所の予習 (概ね1時間程度)
18	Unit9 - Pepsi-Ask for More① 1. Preliminary Reading ~ 3. Reading Comprehension	Unit 9 TV Commercialの視聴 テキストUnit9対応箇所の予習 (概ね1時間程度)
19	Unit9 - Pepsi-Ask for More② Task for TV Commercials No.1 and No.2 4. Vocabulary Preview ~ 9.Utilizing Useful Word and Phrases	テキストUnit9対応箇所の予習 (概ね1時間程度)
20	Unit10 - United Nation Development Programme① 1. Preliminary Reading ~ 3. Reading Comprehension	Unit 10 TV Commercialの視聴 テキストUnit10対応箇所の予習 (概ね1時間程度)
21	Unit10 - United Nation Development Programme② Task for TV Commercial 4. Vocabulary Preview ~ 9.Utilizing Useful Word and Phrases	テキストUnit10対応箇所の予習 (概ね1時間程度)
22	Unit11 - Disney-Magic Happens① 1. Preliminary Reading ~ 3. Reading Comprehension	Unit 11 TV Commercialの視聴 テキストUnit11対応箇所の予習 (概ね1時間程度)
23	Unit11 - Disney-Magic Happens② Task for TV Commercial 4. Vocabulary Preview ~ 9.Utilizing Useful Word and Phrases	テキストUnit11対応箇所の予習 (概ね1時間程度)
24	Unit12 - Coca-Cola-For Everyone① 1. Preliminary Reading ~ 3. Reading Comprehension	Unit 12 TV Commercialの視聴 テキストUnit12対応箇所の予習 (概ね1時間程度)
25	Unit12 - Coca-Cola-For Everyone② Task for TV Commercial 4. Vocabulary Preview ~ 9.Utilizing Useful Word and Phrases	テキストUnit12対応箇所の予習 (概ね1時間程度)
26	Unit13 - Anti-Smoking Campaign① 1. Preliminary Reading ~ 3. Reading Comprehension	Unit 13 TV Commercialの視聴 テキストUnit13対応箇所の予習 (概ね1時間程度)
27	Unit13 - Anti-Smoking Campaign② Task for TV Commercials No.1 and No.2 4. Vocabulary Preview ~ 9.Utilizing Useful Word and Phrases	テキストUnit13対応箇所の予習 (概ね1時間程度)
28	Unit14 - Counterfeit Mini Coopers① 1. Preliminary Reading ~ 3. Reading Comprehension	Unit 14 TV Commercialの視聴 テキストUnit14対応箇所の予習 (概ね1時間程度)
29	Unit14 - Counterfeit Mini Coopers② Task for TV Commercial 4. Vocabulary Preview ~ 9.Utilizing Useful Word and Phrases	テキストUnit14対応箇所の予習 (概ね1時間程度)
30	Unit8-Unit14の総まとめ	今までに学修したことを復習すること。 (概ね1時間程度)
教科書	「English in 30 Seconds.」 Masayuki Aoki, 2018 南雲堂	
参考文献		
備考	シラバスの内容は授業の進行状況によって変更する場合がある。授業内課題は返却時に指導する。	

※以下は該当者のみ記載する。

実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)

--

学修成果	1	2	3	4	5	科目ナンバリング				
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力	CE-1-EBA-03				
	●	●	●							
科目名	Listening I				単位 認定者	相田 明子		授業内課題	80 %	
対象学科 必修・選択 配当年次	現代英語学科	必修	1年	開講時期	前期	単位数	2 単位	評価の 方法	受講態度	20 %
					授業形態	演習	授業時間数		60 時間	
							授業回数		30 回	
授業の概要	<p>本科目は、国際共通語である英語に、多くの地域による発音の変種が存在することを理解し、それぞれの発音の特徴を捉え、聴き取り能力を向上させることを目的とする。具体的には、音声学の知識を基に、英語の音を聴き分け、音の同化や消失、渡り音などについて理解し、正しく聴き取れるようになる。</p> <p>さらにディクテーションを行い、英語の強弱、リズムを的確に拾い、内容理解の正確さを高める。自身が発話する際にもこれらの英語の特性を意識した発話になるように、リピート練習等を取り入れる。場面による特有の会話表現も学習し、会話力向上につなげる。</p>									
到達目標	<p>基礎的なリスニング力を身につけ、日常会話の際に相手の意図が理解できる。又、自分の意思を相手に分かりやすい発音やイントネーションで話すことができるようになる。</p>									
学修者への期待等	<p>カンヌ国際広告賞を受賞したTVコマーシャルを題材に扱ったテキストを採用する。約30秒という時間の中に効果的なメッセージを込めたTVコマーシャルはリスニング素材としても非常に有用である。内容の理解にはPreliminary（予備知識）も必要になる。予習段階で該当する章のテーマに関して理解を深め、必要に応じて周辺知識の調査をしておくこと。</p>									
回	授業計画				準備学修					
1	本授業の進め方について、予習、復習、評価についての説明。 Unit1- Meijer - Higher Standards, Lower Prices① 1. Preliminary Reading～3. Reading Comprehension				Unit 1 TV Commercialの視聴 テキストUnit1対応箇所の予習（概ね1時間程度）					
2	Unit1- Meijer - Higher Standards, Lower Prices② Task for TV Commercials No.1 and No.2 4. Vocabulary Preview ～ 9.Utilizing Useful Word and Phrases				テキストUnit1対応箇所の予習 （概ね1時間程度）					
3	Unit2 - This Calls for a Bud Light① 1. Preliminary Reading ～ 3. Reading Comprehension				Unit 2 TV Commercialの視聴 テキストUnit2対応箇所の予習（概ね1時間程度）					
4	Unit2 - This Calls for a Bud Light② Task for TV Commercials 4. Vocabulary Preview ～ 9.Utilizing Useful Word and Phrases				テキストUnit2対応箇所の予習 （概ね1時間程度）					
5	Unit3 - Anti-Discrimination Campaign① 1. Preliminary Reading ～ 3. Reading Comprehension				Unit 3 TV Commercialの視聴 テキストUnit3対応箇所の予習（概ね1時間程度）					
6	Unit3 - Anti-Discrimination Campaign② Task for TV Commercials 4. Vocabulary Preview ～ 10.Utilizing Useful Word and Phrases				テキストUnit3対応箇所の予習 （概ね1時間程度）					
7	Unit4 - McDonald's-King of Fast-Food Restaurant① 1. Preliminary Reading ～ 3. Reading Comprehension				Unit 4 TV Commercialの視聴 テキストUnit4対応箇所の予習（概ね1時間程度）					
8	Unit4 - McDonald's-King of Fast-Food Restaurant② Task for TV Commercials No.1 and No.2 4. Vocabulary Preview ～ 9.Utilizing Useful Word and Phrases				テキストUnit4対応箇所の予習 （概ね1時間程度）					
9	Unit5 - Relax, it's FedEx.① 1. Preliminary Reading ～ 3. Reading Comprehension				Unit 5 TV Commercialの視聴 テキストUnit5対応箇所の予習（概ね1時間程度）					
10	Unit5 - Relax, it's FedEx.② Task for TV Commercials No.1 and No.2 4. Vocabulary Preview ～ 9.Utilizing Useful Word and Phrases				テキストUnit5対応箇所の予習 （概ね1時間程度）					
11	Unit6 - BMW-A Car beyond Reason① 1. Preliminary Reading ～ 3. Reading Comprehension				Unit 6 TV Commercialの視聴 テキストUnit6対応箇所の予習（概ね1時間程度）					
12	Unit6 - BMW-A Car beyond Reason② Task for TV Commercial 4. Vocabulary Preview ～ 9.Utilizing Useful Word and Phrases				テキストUnit6対応箇所の予習 （概ね1時間程度）					

回	授業計画	準備学修
13	Unit7 - Banking for the Filthy Rich① 1. Preliminary Reading ~ 3. Reading Comprehension	Unit 7 TV Commercialの視聴 テキストUnit7対応箇所の予習 (概ね1時間程度)
14	Unit7 - Banking for the Filthy Rich② Task for TV Commercials No.1 and No.2 4. Vocabulary Preview ~ 9.Utilizing Useful Word and Phrases	テキストUnit7対応箇所の予習 (概ね1時間程度)
15	Unit1-Unit7の総まとめ	今までに学修したことを復習すること。 (概ね1時間程度)
16	Unit8 - Learning Languages① 1. Preliminary Reading ~ 3. Reading Comprehension	Unit 8 TV Commercialの視聴 テキストUnit8対応箇所の予習 (概ね1時間程度)
17	Unit8 - Learning Languages② Task for TV Commercial 4. Vocabulary Preview ~ 9.Utilizing Useful Word and Phrases	テキストUnit8対応箇所の予習 (概ね1時間程度)
18	Unit9 - Pepsi-Ask for More① 1. Preliminary Reading ~ 3. Reading Comprehension	Unit 9 TV Commercialの視聴 テキストUnit9対応箇所の予習 (概ね1時間程度)
19	Unit9 - Pepsi-Ask for More② Task for TV Commercials No.1 and No.2 4. Vocabulary Preview ~ 9.Utilizing Useful Word and Phrases	テキストUnit9対応箇所の予習 (概ね1時間程度)
20	Unit10 - United Nation Development Programme① 1. Preliminary Reading ~ 3. Reading Comprehension	Unit 10 TV Commercialの視聴 テキストUnit10対応箇所の予習 (概ね1時間程度)
21	Unit10 - United Nation Development Programme② Task for TV Commercial 4. Vocabulary Preview ~ 9.Utilizing Useful Word and Phrases	テキストUnit10対応箇所の予習 (概ね1時間程度)
22	Unit11 - Disney-Magic Happens① 1. Preliminary Reading ~ 3. Reading Comprehension	Unit 11 TV Commercialの視聴 テキストUnit11対応箇所の予習 (概ね1時間程度)
23	Unit11 - Disney-Magic Happens② Task for TV Commercial 4. Vocabulary Preview ~ 9.Utilizing Useful Word and Phrases	テキストUnit11対応箇所の予習 (概ね1時間程度)
24	Unit12 - Coca-Cola-For Everyone① 1. Preliminary Reading ~ 3. Reading Comprehension	Unit 12 TV Commercialの視聴 テキストUnit12対応箇所の予習 (概ね1時間程度)
25	Unit12 - Coca-Cola-For Everyone② Task for TV Commercial 4. Vocabulary Preview ~ 9.Utilizing Useful Word and Phrases	テキストUnit12対応箇所の予習 (概ね1時間程度)
26	Unit13 - Anti-Smoking Campaign① 1. Preliminary Reading ~ 3. Reading Comprehension	Unit 13 TV Commercialの視聴 テキストUnit13対応箇所の予習 (概ね1時間程度)
27	Unit13 - Anti-Smoking Campaign② Task for TV Commercials No.1 and No.2 4. Vocabulary Preview ~ 9.Utilizing Useful Word and Phrases	テキストUnit13対応箇所の予習 (概ね1時間程度)
28	Unit14 - Counterfeit Mini Coopers① 1. Preliminary Reading ~ 3. Reading Comprehension	Unit 14 TV Commercialの視聴 テキストUnit14対応箇所の予習 (概ね1時間程度)
29	Unit14 - Counterfeit Mini Coopers② Task for TV Commercial 4. Vocabulary Preview ~ 9.Utilizing Useful Word and Phrases	テキストUnit14対応箇所の予習 (概ね1時間程度)
30	Unit8-Unit14の総まとめ	今までに学修したことを復習すること。 (概ね1時間程度)
教科書	「English in 30 Seconds.」 Masayuki Aoki, 2018 南雲堂	
参考文献		
備考	シラバスの内容は授業の進行状況によって変更する場合がある。授業内課題は返却時に指導する。	

※以下は該当者のみ記載する。

実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)

学修成果	1	2	3	4	5	科目ナンバリング				
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力	CE-1-EBA-05				
	●	●	●							
科目名	Reading & Vocabulary I				単位認定者	金井 典子		評価の方法	授業内課題等	70 %
対象学科 必修・選択 配当年次	現代英語学科	必修	1年	開講時期	前期	単位数	2 単位		最終課題	30 %
					授業形態	演習	授業時間数		60 時間	
							授業回数		30 回	
授業の概要	<p>本科目の目的は、英語の読解力を向上させ、併せて、ボキャブラリービルディングを図ることである。合理的な構造の英語では、単語は文脈によって大きく意味が異なることを理解し、長文読解を通して、辞書の活用法を学ぶ。これにより、語彙を広げるだけでなく語源に基づいた英単語の構造を知り、表現の幅を広げ、英語コミュニケーション能力の向上にもつなげる。読解に関しては、パラグラフの構造、文章の構成を理解し、容易にトピックセンテンスを見つげられるようになることで逐語訳をせずに文意を把握する力の養成と読解速度の向上を図る。</p>									
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 英文を逐語訳に頼らずに内容理解することができる。 2. 単語の成り立ちやイメージを理解し、単なる暗記ではない単語学修法を知り、語彙増強に努める。 3. クラスメイトとコミュニケーションを図りながら、協力して学修できる。 									
学修者への期待等	<p>準備学修に指定した内容を学修してあることを前提に授業を行う。 授業外学修として、Xreadingの指定語数を学期末までにクリアすること。 授業時には英和辞書を持参すること。(スマートフォンの辞書や翻訳機能では英語学修には足りない。英語学科の学生に辞書は必携である)</p>									
回	授業計画				準備学修					
1	本授業の進め方、予習、復習、評価について。多読について。 Unit 1 (Are you ready for a pet?) トピックセンテンスとは何かを考えて読解する。									
2	Unit 1 (Are you ready for a pet?) パラグラフの構造について理解する。クラスメイトと意見交換をし、自分の意見を考える。 Wordsense: go / come 解説と演習				予習として、Wordsense の範囲を読む(概ね15分程度)。					
3	Unit 2 (Gap Year) 比較する対象を理解しながら読解する。 Wordsense: run, 移動を表す単語 解説と演習				予習として、Wordsense の範囲を読む(概ね15分程度)。復習として、毎日、暗唱例文のトレーニングを行う。(概ね30分程度)。					
4	Unit 2 (Gap Year) Post-reading activity. Show and tell プレゼンテーションの準備									
5	Unit 2 (Gap Year) Show and tell プレゼンテーションの発表と意見交換 Wordsense: look / see / watch 解説と演習				予習として、Wordsense の範囲を読む(概ね15分程度)。復習として、毎日、暗唱例文のトレーニングを行う。(概ね30分程度)。					
6	Unit 3 (What is wealth?) 定義づけと例示を理解しながら読解する。									
7	Unit 3 (What is wealth?) Post-reading activity. クラスメイトにインタビューし、意見交換を行う。 Wordsense: hear / listen 解説と演習				予習として、Wordsense の範囲を読む(概ね15分程度)。復習として、毎日、暗唱例文のトレーニングを行う。(概ね30分程度)。					
8	Unit 4 (Globalization) 原因と結果を理解しながら読解する。 Wordsense: speak / talk / say / tell 解説と演習				予習として、Wordsense の範囲を読む(概ね15分程度)。復習として、毎日、暗唱例文のトレーニングを行う。(概ね30分程度)。					
9	Unit 4 (Globalization) Post-reading activity. 要約文の作成。 Wordsense: ask 解説と演習				予習として、Wordsense の範囲を読む(概ね15分程度)。復習として、毎日、暗唱例文のトレーニングを行う。(概ね30分程度)。					
10	Unit 5 (What I learned in College) ナラティブの特徴を理解して読解する。 Wordsense: コミュニケーションを表す重要表現 解説と演習				予習として、Wordsense の範囲を読む(概ね15分程度)。復習として、毎日、暗唱例文のトレーニングを行う。(概ね30分程度)。					
11	Unit 5 (What I learned in College) Post-reading activity. 自分の物語を作り、伝える(ペアワーク)。									
12	Unit 6 (How paper is recycled) 手順の説明を理解しながら読解する。 Wordsense: make 解説と演習				予習として、Wordsense の範囲を読む(概ね15分程度)。復習として、毎日、暗唱例文のトレーニングを行う。(概ね30分程度)。					

回	授業計画	準備学修
13	Unit 6 (How paper is recycled) Post-reading activity. 手順を表すマニュアル等を読解する。	
14	中間まとめ試験。Unit 1～6およびWordsenseの学修内容を確認する。	
15	Unit 7 (Life expectancy) 説明する文章の構造を理解しながら読解する。 スラッシュ・リーディングの演習。	
16	Unit 7 (Life expectancy) Post-reading activity. グラフを説明する表現方法の理解。 Wordsense: 作る・壊すを表す十票表現 解説と演習	予習として、Wordsense の範囲を読む(概ね15分程度)。復習として、毎日、暗唱例文のトレーニングを行う。(概ね30分程度)。
17	Unit 8 (From "Snail Mail" to PDAs) 時系列を意識して読解する。	
18	Unit 8 (From "Snail Mail" to PDAs) Post-reading activity. グループプレゼンテーションの準備 Wordsense: take 解説と演習	予習として、Wordsense の範囲を読む(概ね15分程度)。復習として、毎日、暗唱例文のトレーニングを行う。(概ね30分程度)。
19	Unit 8 (From "Snail Mail" to PDAs) Post-reading activity. グループプレゼンテーションの発表と意見交換	
20	Unit 9 (Rules for success) スピーチの文体を理解して読解する。 Wordsense: have, 所有を表す重要単語 解説と演習	予習として、Wordsense の範囲を読む(概ね15分程度)。復習として、毎日、暗唱例文のトレーニングを行う。(概ね30分程度)。
21	Unit 9 (Rules for success) Post-reading activity. 私のRules for successスピーチを作成し発表する。	
22	Unit 10 (Paid leave and public holiday) 情報の分類を意識しながら読解する。	
23	Unit 10 (Paid leave and public holiday) Post-reading activity. ベアインタビューとその発表。 Wordsense: let, 許可を表す重要単語 解説と演習	予習として、Wordsense の範囲を読む(概ね15分程度)。復習として、毎日、暗唱例文のトレーニングを行う。(概ね30分程度)。
24	Unit 11 (A suitable hotel) emailの文章を読解する。 Wordsense: get 解説と演習	予習として、Wordsense の範囲を読む(概ね15分程度)。復習として、毎日、暗唱例文のトレーニングを行う。(概ね30分程度)。
25	Unit 11 (A suitable hotel) Post-reading activity. 情報を的確に伝える活動	
26	Unit 12 (Another earth?) 科学に関する報告の文体を理解しながら読解する。	
27	Unit 12 (Another earth?) Post-reading activity. リスニングメモからの再現。 Wordsense: 入手を表す重要単語 解説と演習	予習として、Wordsense の範囲を読む(概ね15分程度)。復習として、毎日、暗唱例文のトレーニングを行う。(概ね30分程度)。
28	Unit 14 (Modern writing: Be brief!) 時制を意識して読解する。 Wordsense: put, 置くを表す重要単語 解説と演習	予習として、Wordsense の範囲を読む(概ね15分程度)。復習として、毎日、暗唱例文のトレーニングを行う。(概ね30分程度)。
29	Unit 14 (Modern writing: Be brief!) Post-reading activity. Twitterで利用される文体の特徴に気づく。	
30	Wordsense: 扱えなかった範囲の重要ポイントを解説 継続的な学修について意見交換	
教科書	「English Stream: Pre-intermediate.」 竹内理 他, 金星堂 「英語表現WORD SENSE:伝えるための単語力」 大西泰斗 他, 桐原書店 Xreading (1year license).	
参考文献	授業において適宜紹介する。	
備考	授業外学修に、Xreading(多読システム)およびQuizlet(単語アプリ)を使用する。	
※以下は該当者のみ記載する。		
実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)		

学修成果	1	2	3	4	5	科目ナンバリング				
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力	CE-1-EBA-05				
	●	●	●							
科目名	Reading & Vocabulary I				単位認定者	小松 義隆		評価の方法	授業内課題等	70 %
対象学科 必修・選択 配当年次	現代英語学科	必修	1年	開講時期	前期	単位数	2 単位		受講態度	30 %
					授業形態	演習	授業時間数		60 時間	
				授業形態			授業回数	30 回		
授業の概要	<p>本科目の目的は、英語の読解力を向上させ、併せて、ボキャブラリービルディングを図ることである。合理的な構造の英語では、単語は文脈によって大きく意味が異なることを理解し、長文読解を通して、辞書の活用法を学ぶ。これにより、語彙を広げるだけでなく語源に基づいた英単語の構造を知り、表現の幅を広げ、英語コミュニケーション能力の向上にもつなげる。読解に関しては、パラグラフの構造、文章の構成を理解し、容易にトピックセンテンスを見つけられるようになることで逐語訳をせずに文意を把握する力の養成と読解速度の向上を図る。</p>									
到達目標	<p>学生個人が持っている知識を活用しながら現代社会の様々な話題に関する相当量の英文読み、早く・正確に内容を把握できる。段落や文章の構成を理解し、必要な情報を迅速に抜き出せる。辞書の活用法を学び、語彙を広げコミュニケーション能力の向上につなげる。</p>									
学修者への期待等	<p>英語4技能のうち知識の定着が特に重要となるのがReadingとVocabulary buildingである。本授業では現代の日本の様々なトピックについて扱っているテキストを通し、本文中に出てくる語彙や文法事項と並列して学修を進めていく(リメディアル効果もあり)。本授業は週2回ベースで行われるため単調化を防ぐ意味でも2つ目の構成として、オンライン英字新聞Time for Kidsの記事もとりあげる。Up-to-dateな時事ネタを読み、周辺調査をすることで社会情勢にも明るくなり、同時に読解力、語彙力をつける。語彙を増やす取り組みとしては接頭辞、語幹、接尾辞に関してイラストを通してそれぞれのイメージをわかりやすく扱った『英単語の語源図鑑』を隔回の授業で扱い、後期にまでわたって使用することで着実な語彙力伸長も図る予定である。</p>									
回	授業計画					準備学修				
1	本授業の進め方について、予習、復習、評価についての説明。 Chapter 1 Ken Watanabe 『英単語の語源図鑑』Chapter 1 part 1					「はしがき」を読み、テキストを概観して構成を見ておく。 Notesを参照しながらChapter 1の内容を予習する。 Grammar Review～Exerciseまで 『英単語の語源図鑑』対応箇所(概ね1時間)				
2	Time for Kids ① Article 1 (1回目の授業時に配布) グループ別記事内容(および周辺知識)発表					1回目の授業時に配布したTime for Kids記事(グループ別)を分担し予習(概ね1時間)				
3	Chapter 2 Sakana-kun 『英単語の語源図鑑』Chapter 1 part 2					Notesを参照しながらChapter 2の内容を予習する。 Grammar Review～Exerciseまで 『英単語の語源図鑑』対応箇所(概ね1時間)				
4	Time for Kids ② Article 2 (2回目の授業時に配布) グループ別記事内容(および周辺知識)発表					2回目の授業時に配布したTime for Kids記事(グループ別)を分担し予習(概ね1時間)				
5	Chapter 3 Kohei Uhcimura 『英単語の語源図鑑』Chapter 2 part 1					Notesを参照しながらChapter 3の内容を予習する。 Grammar Review～Exerciseまで 『英単語の語源図鑑』対応箇所(概ね1時間)				
6	Time for Kids ③ Article 3 (4回目の授業時に配布) グループ別記事内容(および周辺知識)発表					4回目の授業時に配布したTime for Kids記事(グループ別)を分担し予習(概ね1時間)				
7	Chapter 4 Hiromi Miyake 『英単語の語源図鑑』Chapter 2 part 2					Notesを参照しながらChapter 4の内容を予習する。 Grammar Review～Exerciseまで 『英単語の語源図鑑』対応箇所(概ね1時間)				
8	Time for Kids ④ Article 4 (6回目の授業時に配布) グループ別記事内容(および周辺知識)発表					6回目の授業時に配布したTime for Kids記事(グループ別)を分担し予習(概ね1時間)				
9	Chapter 5 Taiwan 『英単語の語源図鑑』Chapter 3 part 1					Notesを参照しながらChapter 5の内容を予習する。 Grammar Review～Exerciseまで 『英単語の語源図鑑』対応箇所(概ね1時間)				
10	Time for Kids ⑤ Article 5 (8回目の授業時に配布) グループ別記事内容(および周辺知識)発表					8回目の授業時に配布したTime for Kids記事(グループ別)を分担し予習(概ね1時間)				
11	Chapter 6 Apples 『英単語の語源図鑑』Chapter 3 part 2					Notesを参照しながらChapter 6の内容を予習する。 Grammar Review～Exerciseまで 『英単語の語源図鑑』対応箇所(概ね1時間)				
12	Time for Kids ⑥ Article 6 (10回目の授業時に配布) グループ別記事内容(および周辺知識)発表					10回目の授業時に配布したTime for Kids記事(グループ別)を分担し予習(概ね1時間)				

回	授業計画	準備学修
13	Chapter 7 B-Class Food Boom 『英単語の語源図鑑』 Chapter 4 part 1	Notesを参照しながらChapter 7の内容を予習する。 Grammar Review～Exerciseまで 『英単語の語源図鑑』 対応箇所 (概ね1時間)
14	Time for Kids ⑦ Article 7 (12回目の授業時に配布) グループ別記事内容 (および周辺知識) 発表	12回目の授業時に配布したTime for Kids記事 (グループ別) を分担し予習 (概ね1時間)
15	Chapter 8 Food Traceability 『英単語の語源図鑑』 Chapter 4 part 2	Notesを参照しながらChapter 8の内容を予習する。 Grammar Review～Exerciseまで 『英単語の語源図鑑』 対応箇所 (概ね1時間)
16	既習範囲のまとめと確認	これまでの授業で学修した範囲の確認 (概ね1.5時間)
17	Chapter 9 Naming Rights 『英単語の語源図鑑』 Chapter 5 part 1	Notesを参照しながらChapter 9の内容を予習する。 Grammar Review～Exerciseまで 『英単語の語源図鑑』 対応箇所 (概ね1時間)
18	Time for Kids ⑧ Article 8 (14回目の授業時に配布) グループ別記事内容 (および周辺知識) 発表	14回目の授業時に配布したTime for Kids記事 (グループ別) を分担し予習 (概ね1時間)
19	Chapter 10 Smart Cities 『英単語の語源図鑑』 Chapter 5 part 2	Notesを参照しながらChapter 10の内容を予習する。 Grammar Review～Exerciseまで 『英単語の語源図鑑』 対応箇所 (概ね1時間)
20	Time for Kids ⑨ Article 9 (18回目の授業時に配布) グループ別記事内容 (および周辺知識) 発表	18回目の授業時に配布したTime for Kids記事 (グループ別) を分担し予習 (概ね1時間)
21	Chapter 11 Geopark 『英単語の語源図鑑』 Chapter 6 part 1	Notesを参照しながらChapter 11の内容を予習する。 Grammar Review～Exerciseまで 『英単語の語源図鑑』 対応箇所 (概ね1時間)
22	Time for Kids ⑩ Article 10 (20回目の授業時に配布) グループ別記事内容 (および周辺知識) 発表	20回目の授業時に配布したTime for Kids記事 (グループ別) を分担し予習 (概ね1時間)
23	Chapter 12 Rare Earths 『英単語の語源図鑑』 Chapter 6 part 2	Notesを参照しながらChapter 12の内容を予習する。 Grammar Review～Exerciseまで 『英単語の語源図鑑』 対応箇所 (概ね1時間)
24	Time for Kids ⑪ Article 11 (22回目の授業時に配布) グループ別記事内容 (および周辺知識) 発表	22回目の授業時に配布したTime for Kids記事 (グループ別) を分担し予習 (概ね1時間)
25	Chapter 13 Biomass 『英単語の語源図鑑』 Chapter 7 part 1	Notesを参照しながらChapter 13の内容を予習する。 Grammar Review～Exerciseまで 『英単語の語源図鑑』 対応箇所 (概ね1時間)
26	Time for Kids ⑫ Article 12 (24回目の授業時に配布) グループ別記事内容 (および周辺知識) 発表	24回目の授業時に配布したTime for Kids記事 (グループ別) を分担し予習 (概ね1時間)
27	Chapter 14 Green Curtains 『英単語の語源図鑑』 Chapter 7 part 2	Notesを参照しながらChapter 14の内容を予習する。 Grammar Review～Exerciseまで 『英単語の語源図鑑』 対応箇所 (概ね1時間)
28	Time for Kids ⑬ Article 12 (26回目の授業時に配布) グループ別記事内容 (および周辺知識) 発表	26回目の授業時に配布したTime for Kids記事 (グループ別) を分担し予習 (概ね1時間)
29	Chapter 15 The Robot Industry 『英単語の語源図鑑』 Chapter 8 part 1	Notesを参照しながらChapter 15の内容を予習する。 Grammar Review～Exerciseまで 『英単語の語源図鑑』 対応箇所 (概ね1時間)
30	Time for Kids ⑭ Article 14 (28回目の授業時に配布) グループ別記事内容 (および周辺知識) 発表	28回目の授業時に配布したTime for Kids記事 (グループ別) を分担し予習 (概ね1時間)
教科書	「ジャパン イノベーション」 ジョアン・ペロケティ他 南雲堂 「英単語の語源図鑑」 清水健司・すずきひろし かんき出版 並行してxreadingを使用し、多読を実践する	
参考文献	特になし	
備考	授業担当者の違いや内容の進捗のよってシラバスの内容を変更することがあります。	

※以下は該当者のみ記載する。

実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)

学修成果	1	2	3	4	5	科目ナンバリング				
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力	CE-1-EBA-07				
	●	●	●							
科目名	Grammar & Composition I				単位認定者	金井 典子		評価の方法	授業内課題等	70 %
対象学科 必修・選択 配当年次	現代英語学科	必修	1年	開講時期	前期	単位数	2 単位		最終課題	30 %
					授業形態	演習	授業時間数	60 時間		
							授業回数	30 回		
授業の概要	本科目は、英語コミュニケーションの基盤となる英文法を理解し、様々なコミュニケーションの場面において正しく活用できるようになることを目的とする。既習事項の再確認の上に、暗記によらず、文法事項を論理的に理解し、その定着を図る。加えて、英作文は文法事項定着の一手段と捉え、日記等の課題を設定し、英文の産出の機会を十分に用意する。これにより、より発展的な英語使用者となるための強固な基礎力を育成する。									
到達目標	英文法を理解し、コミュニケーションに活用することができる。 伝えたいこと、説明したいことを平易な英文で表現できるようになる。									
学修者への期待等	授業には英和辞典を持参すること（スマートフォンの辞書、翻訳機能では学修には足りません。辞書は必携です。）指定された予習・復習を行い授業に臨むこと。英語力向上のためには、授業外の学修を確実に行うことが欠かせません。									
回	授業計画					準備学修				
1	授業の概要確認。テキストの指示。予習・復習の指示。 FACTBOOK: CORE(入学前課題)の内容から、基本事項のreview.									
2	Factbook: 序章 主語と述語、否定文と疑問文、不規則動詞 解説と演習									
3	Factbook: 文型 (1) (2) 5文型の解説と演習 自動詞と他動詞					(復習) 音声を利用し音読トレーニングを行う。(概ね30分程度)				
4	Writing: Unit 1. SV, 代名詞。自己紹介文のライティング。Peer review.					(復習) Useful Expressionsを復習する。(概ね30分程度)				
5	Factbook: 文型 (1) (2) 5文型の復習 文型 (3) 文型Plus 解説と演習					(復習) 音声を利用し音読トレーニングを行う。(概ね30分程度)				
6	glee Unit 1 New directions: Language in focus "励まし" Vocabulary, Expression, Dictation, Comprehension									
7	Factbook: 時制 (1) (2) 解説と演習 修飾とふたつのルール					(復習) 音声を利用し音読トレーニングを行う。(概ね30分程度)				
8	Factbook: 時制 (1) (2) 復習 Writing: Unit 2. 時制。文法事項とリーディング					(復習) 音声を利用し音読トレーニングを行う。(概ね30分程度)				
9	Writing: Unit 2. 時制 過去の出来事のライティング。Peer review.					(復習) Useful Expressionsを復習する。(概ね30分程度)				
10	Factbook: 完了形 (1) (2) 解説と演習					(復習) 音声を利用し音読トレーニングを行う。(概ね30分程度)				
11	Factbook: 完了形 (1) (2) 復習					(復習) 音声を利用し音読トレーニングを行う。(概ね30分程度)				
12	glee Unit 2 What's the other opinion?: Language in focus "決意" Vocabulary, Expression, Dictation, Comprehension									
13	中間まとめ: Factbookの学修範囲を中間試験する。									

回	授業計画	準備学修
14	中間試験のreview. Writing: パラグラフの構造 接続詞1	
15	Writing: 日常生活についてのライティング。Peer review.	(復習) Useful Expressionsを復習する。(概ね30分程度)
16	Factbook: 助動詞 (1) must / may / will 解説と演習	(復習) 音声を利用し音読トレーニングを行う。(概ね30分程度)
17	Factbook: 助動詞 (2) (3) can / should / 控えめ表現 助動詞+完了形 解説と演習	(復習) 音声を利用し音読トレーニングを行う。(概ね30分程度)
18	Factbook: 助動詞 (1) ~ (3) 復習	(復習) 音声を利用し音読トレーニングを行う。(概ね30分程度)
19	<i>glee</i> Unit 3 You're leaving us?: Language in focus "驚き" Vocabulary, Expression, Dictation, Comprehension	
20	Factbook: 受動態 (1) 受動態の基本形 日本語との違い 解説と演習	(復習) 音声を利用し音読トレーニングを行う。(概ね30分程度)
21	Factbook: 受動態 (2) 前置詞と受動態 / SVOC 解説と演習	(復習) 音声を利用し音読トレーニングを行う。(概ね30分程度)
22	Factbook: 受動態 (1) (2) 復習	(復習) 音声を利用し音読トレーニングを行う。(概ね30分程度)
23	Writing: Unit 4 Topic Sentence 接続詞2	
24	Writing: Unit 4 自分の考えや信念についてのライティング。Peer review.	(復習) Useful Expressionsを復習する。(概ね30分程度)
25	<i>glee</i> Unit 4 Don't stop believing: Language in focus "説得" Vocabulary, Expression, Dictation, Comprehension	
26	Factbook: Option 名詞 (1) (2) (3) 解説と演習	(復習) 音声を利用し音読トレーニングを行う。(概ね30分程度)
27	Factbook: Option 名詞 (1) ~ (3) 復習	(復習) 音声を利用し音読トレーニングを行う。(概ね30分程度)
28	Factbook: Option 形容詞 解説と演習	(復習) 音声を利用し音読トレーニングを行う。(概ね30分程度)
29	Factbook: Option 副詞 解説と演習	(復習) 音声を利用し音読トレーニングを行う。(概ね30分程度)
30	総復習: ここまで学修した範囲の復習を行う。	
教科書	「総合英語FACTBOOK:Advanced」 桐原書店編集部編 桐原書店 「A Passage to Paragraph Writing」 Koki Endo Cengage Learning 「グリーで学ぶコミュニケーション英語①」 角山照彦 松柏社	
参考文献	「総合英語FACTBOOK これからの英文法」 大西隼人, ポールマクベイ 桐原書店 その他, 授業時に適宜紹介する。	
備考	上記以外の予習・復習については, 授業時に説明する。 受講者の理解度等により順番や重点の置き方を変更する場合がある。	

※以下は該当者のみ記載する。

実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要, 実務経験と授業科目との関連性)

学修成果	1	2	3	4	5	科目ナンバリング				
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力	CE-1-EBA-07				
	●	●	●							
科目名	Grammar & Composition I				単位認定者	相田 明子		授業内課題等	80 %	
対象学科 必修・選択 配当年次	現代英語学科	必修	1年	開講時期	前期	単位数	2 単位	評価の方法	受講態度	20 %
							授業時間数		60 時間	
				授業形態	演習	授業回数			30 回	
授業の概要	<p>本科目は、英語コミュニケーションの基盤となる英文法を理解し、様々なコミュニケーションの場面において正しく活用できるようになることを目的とする。既習事項の再確認の上に、暗記によらず、文法事項を論理的に理解し、その定着を図る。加えて、英作文は文法事項定着の一手段と捉え、日記等の課題を設定し、英文の産出の機会を十分に用意する。これにより、より発展的な英語使用者となるための強固な基礎力を育成する。</p>									
到達目標	<p>英文法を理解し、コミュニケーションに活用することができる。 伝えたいこと、説明したいことを平易な英文で表現できるようになる。</p>									
学修者への期待等	<p>授業には英和辞典を持参すること（スマートフォンの辞書、翻訳機能では学修には足りません。辞書は必携です。）指定された予習・復習を行い授業に臨むこと。英語力向上のためには、授業外の学修を確実に行うことが欠かせません。</p>									
回	授業計画				準備学修					
1	授業の概要確認。テキストの指示。予習・復習の指示。 FACTBOOK: CORE(入学前課題)の内容から、基本事項のreview.									
2	Factbook: 序章 主語と述語、否定文と疑問文、不規則動詞 解説と演習				(予習) 配布されたプリント(動詞の活用)を完成させる(概ね30分)					
3	Factbook: 文型(1)(2)5文型の解説と演習 自動詞と他動詞				(復習) 音声を利用し音読トレーニングを行う。(概ね30分程度)					
4	Writing(1) 自己紹介文のライティング。Peer review.									
5	Factbook: 文型(1)(2)5文型の復習 文型(3)文型Plus 解説と演習				(復習) 音声を利用し音読トレーニングを行う。(概ね30分程度)					
6	glee Unit 1 New directions: Language in focus "励まし" Vocabulary, Expression, Dictation, Comprehension									
7	Factbook: 時制(1)(2)解説と演習 修飾とふたつのルール				(復習) 音声を利用し音読トレーニングを行う。(概ね30分程度)					
8	Factbook: 時制(1)(2)復習 Writing: 時制。文法事項とリーディング				(復習) 音声を利用し音読トレーニングを行う。(概ね30分程度)					
9	Writing(2) 時制 過去の出来事のライティング。Peer review.									
10	Factbook: 完了形(1)(2)解説と演習				(復習) 音声を利用し音読トレーニングを行う。(概ね30分程度)					
11	Factbook: 完了形(1)(2)復習				(復習) 音声を利用し音読トレーニングを行う。(概ね30分程度)					
12	glee Unit 2 What's the other opinion?: Language in focus "決意" Vocabulary, Expression, Dictation, Comprehension									
13	中間まとめ: Factbookの学修範囲を中間試験する。									

回	授業計画	準備学修
14	中間試験のreview. Writing(3)「時制」を意識したライティング。	
15	Writing(4)日常生活についてのライティング。Peer review.	
16	Factbook:助動詞(1) must / may / will 解説と演習	(復習)音声を利用し音読トレーニングを行う。(概ね30分程度)
17	Factbook:助動詞(2)(3) can / should / 控えめ表現 助動詞+完了形 解説と演習	(復習)音声を利用し音読トレーニングを行う。(概ね30分程度)
18	Factbook:助動詞(1)～(3)復習	(復習)音声を利用し音読トレーニングを行う。(概ね30分程度)
19	glee Unit 3 You're leaving us?: Language in focus "驚き" Vocabulary, Expression, Dictation, Comprehension	
20	Factbook:受動態(1)受動態の基本形 日本語との違い 解説と演習	(復習)音声を利用し音読トレーニングを行う。(概ね30分程度)
21	Factbook:受動態(2)前置詞と受動態 / SVOC 解説と演習	(復習)音声を利用し音読トレーニングを行う。(概ね30分程度)
22	Factbook:受動態(1)(2)復習	(復習)音声を利用し音読トレーニングを行う。(概ね30分程度)
23	Writing(5)自分の考えや信念についてのライティング。	
24	Writing:(6)自分の考えや信念についてのライティング。Peer review.	
25	glee Unit 4 Don't stop believing: Language in focus "説得" Vocabulary, Expression, Dictation, Comprehension	
26	Factbook:Option 名詞(1)(2)(3)解説と演習	(復習)音声を利用し音読トレーニングを行う。(概ね30分程度)
27	Factbook:Option 名詞(1)～(3)復習	(復習)音声を利用し音読トレーニングを行う。(概ね30分程度)
28	Factbook:Option 形容詞 解説と演習	(復習)音声を利用し音読トレーニングを行う。(概ね30分程度)
29	Factbook:Option 副詞 解説と演習	(復習)音声を利用し音読トレーニングを行う。(概ね30分程度)
30	総復習:ここまで学修した範囲の復習を行う。	
教科書	「総合英語FACTBOOK:Advanced」 桐原書店編集部編 桐原書店 「グリーンで学ぶコミュニケーション英語①」 角山照彦 松柏社	
参考文献	「総合英語FACTBOOK これからの英文法」 大西隼人, ポールマクベイ 桐原書店 その他, 授業時に適宜紹介する。	
備考	上記以外の予習・復習については, 授業時に説明する。 受講者の理解度等により順番や重点の置き方を変更する場合がある。	

※以下は該当者のみ記載する。

実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要, 実務経験と授業科目との関連性)

学修成果	1	2	3	4	5	科目ナンバリング			
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力	TB-0-HCU-02			
	●	●		●	●				
科目名	東北学				単位認定者	榎森 進 黒田 清志		※詳細は「備考」欄を参照すること。	
対象学科 必修・選択 配当年次	現代英語学科	必修	2年	開講時期	前期	単位数	2 単位		評価の方法
				授業形態	講義	授業時間数	30 時間		
						授業回数	15 回		
授業の概要	東北における観光ビジネスを学ぶうえで重要となる、東北の歴史・文化・社会・経済について総合的に理解する。 (榎森) 東北地方の歴史的な性格や、その歴史の上に受け継がれている伝統や年中行事、食や生活習慣、言葉などを理解し、豊かな文化をもつ東北の歴史と文化について探求することを目的とする。 (黒田) 東北地方の社会・経済について理解し、地域社会を活性化するための企画の手法などについて学ぶ。								
到達目標	(榎森) 東北地方の歴史と文化に関する知識を得、当該問題について他人に説明出来るようになる。 (黒田) ①東北の地域資源を知る。 ②地域資源を活かす方法を学ぶ。								
学修者への期待等	(榎森) 事前に各回のテーマに関する参考文献を教室で指示しますので、各回ともその参考文献に目を通して受講して下さい。 (黒田) 自ら地域資源を調べ、それを活かす企画の方法・技術を身につける。								
回	授業計画				準備学修			担当	
1	東北地方の歴史や文化の諸相を多様な視点から考えることの大切さーグローバルズムとレジオナリズムー				第2回目の講義との関わりで児島恭子著『エミシ・エゾからアイヌへ（歴史文化ライブラリー）』（吉川弘文館）に目を通しておいて下さい。（概ね1時間程度） その後も次回のテーマに関する参考文献を提示しますので、各回とも参考文献に目を通して受講すること（1時間程度）。			榎森 進	
2	エミシ・エゾ・アイヌー中央政権側の奥羽民衆に対する認識の変遷とその歴史的背景ー							榎森 進	
3	奥州藤原氏3代の歴史的な位置							榎森 進	
4	17世紀には下北半島が盛岡藩の北の玄関だった							榎森 進	
5	松前藩の経済を支えた出羽村山地方の年貢米							榎森 進	
6	奥羽大名の幕府への献上品から見た近世奥羽の特産物							榎森 進	
7	幕末における奥羽諸藩の蝦夷地警備と経営							榎森 進	
8	日本の食文化における東北地方の食文化の位置							榎森 進	
9	戊辰戦争と奥羽の世界							榎森 進	
10	英国婦人イサベラ・バードが見た明治初期の東北							榎森 進	
11	東北学の学び方と関わり方				提示した参考文献等を読んでおくこと	黒田 清志			
12	地域を知る				同上	黒田 清志			
13	地域のマーケティング				同上	黒田 清志			
14	地域活性化の方策 企画力				同上	黒田 清志			
15	良い地域をつくるために				同上	黒田 清志			
教科書	(榎森) 特に無し。 (黒田) テキスト等は授業の都度配付。								
参考文献	(榎森) 東北学院大学歴史学科編「大学で学ぶ東北の歴史」 (黒田) 参考文献等は授業の都度、提示します。								
備考	「評価の方法」について (榎森) 試験（レポート） 80% 受講態度 20% (黒田) 試験（レポート） 70% 受講態度 30% フィードバックは毎回「感想と意見」に基づいて行う。								

※以下は該当者のみ記載する。

実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)

(黒田清志)
H6年からH23年まで仙台市経済局、および仙台市観光コンベンション協会、また、中小企業診断士として、地域の中小企業、商店街、農業、観光の支援事業を担当。その後、山形県など各地の研修会等のセミナー講師、アドバイザーを務める。
広範囲の業種の事業者の経営支援や東北の地域活性化事業に関わってきた経験から、特に経済や文化的側面について、分かりやすく具体的な授業を行う。

学修成果	1	2	3	4	5	科目ナンバリング			
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力	CO-0-HCU-03			
	●			●					
科目名	歴史と文化				単位認定者	丸藤 准二 徳田 幸雄		※詳細は備考欄を参照すること	
対象学科 必修・選択 配当年次	現代英語学科	必修	2年	開講時期	前期	単位数	1 単位		評価の方法
							授業回数		
				授業形態	講義				
授業の概要	<p>こんにちの世界を理解するためには、歴史、宗教、思想などの多様な側面の知識が必要となる。特に、近現代を中心とした歴史や世界の諸宗教の理解は重要である。これらの基礎的知識を身に付け、また、世界に大きな影響を与えた思想や書物などにも触れ、こんにちの世界に対する自己の見識を持てるようになることを目的とする。</p>								
到達目標	<p>(丸藤) 近現代世界の形成上、重要な役割を持つ歴史事象について、社会・経済・文化の観点から各回主題を設けて講義する。主題に関する諸問題を理解し、近現代の世界に対する知識・理解・関心を深めることを目標とする。 (徳田) 人間のみが持ち得る、歴史や文化、宗教を学ぶことによって、社会人、そして家庭人としても有用な、より深く、豊かな人間の理解を身に付けることを目標とする。</p>								
学修者への期待等	<p>授業を理解するために、毎回必ず出席してください。歴史的事象を理解するのみならず、その事象が現代の世界にどのような影響を与えているかを考えるよう心がけてください。</p>								
回	授業計画				準備学修		担当		
1	グローバルエコノミーのはじまり —西欧の拡大:地域間経済から世界経済へ—				レジュメをよく読み、今回の授業内容を理解するとともに、課題を完成させること。(約1時間)		丸藤 准二		
2	科学革命と啓蒙 —「知」の大転換と新しい「知」の広がり—				レジュメをよく読み、今回の授業内容を理解するとともに、課題を完成させること。(約1時間)		丸藤 准二		
3	産業革命 —人類史の分水嶺:工業化による経済・社会の変革—				配布したレジュメを中心に今回の授業内容を復習し、課題を完成させること。(約1時間)		丸藤 准二		
4	ビジネスの歴史・教育の歴史・医療の歴史 —諸制度の発展と近代社会—				レジュメをよく読み、今回の授業内容を理解するとともに、課題を完成させること。(約1時間)		丸藤 准二		
5	現代世界とグローバルヒストリー —現代世界の成立と新しい歴史観—				今回の授業を復習するとともに、これまでの授業全体を理解すること。(約1時間)		丸藤 准二		
6	ユダヤ教について —律法の遵守—				授業時に配布するチェックテストの復習を宿題とする。(所要時間15～20分)		徳田 幸雄		
7	キリスト教について —罪からの救い—				授業時に配布するチェックテストの復習を宿題とする。(所要時間15～20分)		徳田 幸雄		
8	イスラームについて —神への服従—				授業時に配布するチェックテストの復習を宿題とする。(所要時間15～20分)		徳田 幸雄		
9	インドの宗教について —業と輪廻—				授業時に配布するチェックテストの復習を宿題とする。(所要時間15～20分)		徳田 幸雄		
10	仏教について —苦からの解脱—				授業時に配布するチェックテストの復習を宿題とする。(所要時間15～20分)		徳田 幸雄		
教科書	教科書は使用せず、授業において適宜資料を配布します。								
参考文献	授業において指示します。								
備考	<p>評価の方法について (丸藤) 授業内課題(各授業回での課題) 100% (徳田) 授業内課題(チェック・テスト) 100%</p>								

※以下は該当者のみ記載する。

実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)

--

学修成果	1	2	3	4	5	科目ナンバリング			
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力	CO-0-HS0-02			
	●			●					
科目名	暮らしの中の法律				単位認定者	鈴木 翔太		授業内課題	100 %
対象学科 必修・選択 配当年次	現代英語学科	必修	2年	開講時期	前期	単位数	1 単位	評価の方法	
				授業形態	講義	授業時間数	20 時間		
						授業回数	10 回		
授業の概要	法律問題の理解に必要な基本法である憲法、民法等の条文に触れ、法律の基礎知識を修得する。憲法では基本的人権や最近議論されている憲法改正等を、民法では日常生活で生じる契約や家族といった学生にとって身近な法律問題を、積極的に取り上げる。さらに、身近な法律問題について、具体的な事例を検討させ、事例から結論に至る論理を理解する。他者の意見を理解するとともに、自己の意見を持つ機会を与え、法的思考力を身につける。								
到達目標	社会問題を考える際の土台となる法律の基本的な用語や概念を理解し、説明できる。身近な法律問題の学修を通じて、自ら問題を解決するための思考方法を養う。								
学修者への期待等	聞き慣れない用語や概念が多いと思いますので、復習を中心に取り組んで下さい。法律用語と日常用語の違い、授業内で扱った事例や問題は、重点的に復習すること。その際、結論だけでなく理由も説明できるようにしておくこと。								
回	授業計画				準備学修				
1	法律の種類と法律を学ぶ意味								
2	憲法、民法、商法のそれぞれ特徴と違い				前回講義の内容について適宜小テストを実施するため、レジユメを参照して復習すること（30分程度）				
3	憲法（1）基本的人権 —平等権、精神的自由等—				前回講義の内容について適宜小テストを実施するため、レジユメを参照して復習すること（30分程度）				
4	憲法（2）基本的人権 —経済的自由、その他の人権—				前回講義の内容について適宜小テストを実施するため、レジユメを参照して復習すること（30分程度）				
5	憲法（3）人権総括、統治機構				前回講義の内容について適宜小テストを実施するため、レジユメを参照して復習すること（30分程度）				
6	民法（1）総則				前回講義の内容について適宜小テストを実施するため、レジユメを参照して復習すること（30分程度）				
7	民法（2）物権				前回講義の内容について適宜小テストを実施するため、レジユメを参照して復習すること（30分程度）				
8	民法（3）債権（契約等）				前回講義の内容について適宜小テストを実施するため、レジユメを参照して復習すること（30分程度）				
9	民法（4）債権（不法行為）				前回講義の内容について適宜小テストを実施するため、レジユメを参照して復習すること（30分程度）				
10	民法（5）親族・相続				前回講義の内容について適宜小テストを実施するため、レジユメを参照して復習すること（30分程度）				
教科書	特に指定しない。必要に応じてレジユメや資料を配付する。								
参考文献	授業内で適宜紹介する。								
備考	授業内容は、進度に応じて変更する場合がある。小テストについては、前回までの講義の内容から出題し、講義内で模範解答を配布した上で解説を行う。								

※以下は該当者のみ記載する。

実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)

公認会計士として、法定監査（金融商品取引法、会社法等）、株式上場支援、内部統制構築支援等の業務に従事。様々なビジネス現場での経験から、具体的な事例を紹介して、分かりやすく解説する。

学修成果	1 基礎力	2 実践力	3 人間関係力	4 生涯学習力	5 地域理解力
	●			●	●

科目ナンバリング
CO-0-HSO-03

科目名	現代の社会				単位認定者	吉田 理		評価の方法	授業内課題等	80 %
対象学科 必修・選択 配当年次	看護学科	必修	1年	開講時期	前期	単位数	1 単位		受講態度	20 %
						授業時間数	20 時間			
				授業形態	講義	授業回数	10 回			
授業の概要	現代の日本及び世界がどのような構造になっているかについて、経済、政治の視点を主としながら理解する。また、日本社会が抱える諸問題についても考える。現代の社会を生きるために不可欠な基礎知識を身につけ、社会の動向に絶えず関心を持ち続け、社会生活において的確な選択や判断ができるようにする。									
到達目標	取り上げるテーマは、いづれも社会人として当然備うるべき常識と考えられる事項である。社会生活自体はもちろんのこと就職活動における面接等でそれらについて問われた際に、概略と自身の考えを述べられるようになることを目標とする。									
学修者への期待等	「自立した大人」になるための下地を作ってほしいという観点から、各人の専攻に関わらず社会人として当然知っておくべき事項を取り上げる。一般的な知識を修得し、良き職業人を目指すという意欲をもって受講してほしい。									
回	授業計画					準備学修				
1	「現代の社会」導入(現代社会の誕生)					私たちを取り巻く現代社会について、その特徴を列挙し考察すること。(30分程度)				
2	現代社会の特質(特に生命科学と情報技術)					前回の講義内容(「現代の社会」導入)を復習し、当日配付する確認テストに備えること。(1時間程度)				
3	現代社会と人間の本質(特に自己形成)					前回の講義内容(現代社会の特質)を復習し、当日配付する確認テストに備えること。(1時間程度)				
4	日本国憲法の基本的性格(特に社会権・参政権)					前回の講義内容(現代社会と人間の本質)を復習し、当日配付する確認テストに備えること。(1時間程度)				
5	日本の政治機構と政治参加(特に地方自治と選挙制度・世論)					前回の講義内容(日本国憲法の基本的性格)を復習し、当日配付する確認テストに備えること。(1時間程度)				
6	現代の経済社会(特に財政と金融)					前回の講義内容(日本の政治機構と政治参加)を復習し、当日配付する確認テストに備えること。(1時間程度)				
7	少子高齢化(その原因と対策、社会保障の概要について)					前回の講義内容(現代の経済社会)を復習し、当日配付する確認テストに備えること。(1時間程度)				
8	消費者問題(消費者問題の歴史、消費者を保護するための制度について)					前回の講義内容(少子高齢化)を復習し、当日配付する確認テストに備えること。(1時間程度)				
9	労働問題(日本の労働事情や労働関係法規・制度、労働格差について)					前回の講義内容(消費者問題)を復習し、当日配付する確認テストに備えること。(1時間程度)				
10	国際社会と人類の課題(特に国際平和と日本の役割)					前回の講義内容(労働問題)を復習し、当日配付する確認テストに備えること。(1時間程度)				
教科書	「2020小論文頻出テーマ解説集 現代を知るplus」第一学習社									
参考文献	「別冊NHK 100分de名著 読書の学校 特別授業 君たちはどう生きるか」池上彰著(NHK出版(2017)) 各項目について報道している日刊新聞(購読していない場合は各社のweb版でも可。ただし不特定者によるまとめ記事はむしろ不可)									
備考	板書を中心に進める。 レポート作成を課し(含事後指導)、単位認定の授業内課題必須事項として成績に加える。 受講態度は、 確認テスト解答送信で判断する。									

※以下は該当者のみ記載する。

実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)

--

学修成果	1	2	3	4	5	科目ナンバリング		
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力	CE-2-EAD-01		
		●	●		●			
科目名	Oral Communication III				単位認定者	スミス アンソニー		
対象学科 必修・選択 配当年次	現代英語学科	必修	2年	開講時期	後期	評価の方法	試験(筆記)	60%
				授業形態	演習		授業内課題	20%
							授業回数	30回
授業の概要	「Oral Communication II」をさらに発展させ、日常の物事や時事問題などに関して、積極的に自分の意見を英語で表出することを目的とする。授業では、時事に関する視聴覚教材や読解教材を取り入れ、現代社会の事象に関する自身の考えやスタンスをも言語化できるようにする。グループディスカッションを多く取り入れ、メンバーが持ち回りで議長役を担い、グループの意見をまとめ、発表する。身近な話題に限らず、幅広い話題に関して、自分の考えを論理的かつ積極的に表現できる力を身につける。							
到達目標	身近な話題に限らず、幅広い話題に関して、自分の考えを論理的かつ積極的に、英語でディベートできる力を身につける。							
学修者への期待等	授業には、テキスト、辞書(言語の学修に辞書は必須)、ノート、ファイル(授業で渡されたプリント等を整理できるもの)を必ず持参すること。また、授業の前に必ず予習しておくこと。具体的には、次の授業で学ぶであろう章に目を通し、分からない語彙があれば辞書で調べておくこと。Online WorkbookやAudio, visual material, できるだけ抵抗や苦勞なく内容理解が進められるようにしてください。							
回	授業計画				準備学修			
1	Unit1 Dogs or Cats? ペットをかうなら犬?猫? 相手に対して応答する表現 名詞句				Listen and talk. Listen for information (概ね40分)			
2	Unit1 Dogs or Cats? ペットをかうなら犬?猫? 相手に対して応答する表現 動詞句				Discussion: Role play task. (概ね40分)			
3	Unit2 Dubbing or Subtitling? 映画を見るなら吹き替え?字幕? 聞き手の反応を促す表現 句				Listen and talk. Listen for information (概ね40分)			
4	Unit2 Dubbing or Subtitling? 映画を見るなら吹き替え?字幕? 聞き手の反応を促す表現 節				Discussion: Role play task. (概ね40分)			
5	Unit3 Traveling on Your Own or in a Group Tour? 旅行するなら個人?団体ツアー? 意見を考えるために時間を稼ぐ表現 等位接続詞				Listen and talk. Listen for information (概ね40分)			
6	Unit3 Traveling on Your Own or in a Group Tour? 旅行するなら個人?団体ツアー? 意見を考えるために時間を稼ぐ表現 従位接続詞				Discussion: Role play task. (概ね40分)			
7	Unit4 Paper Bags or Plastic Bags? 買い物には紙袋?ビニール袋? 意見を整理して述べる表現 文系SV, SVC				Listen and talk. Listen for information (概ね40分)			
8	Unit4 Paper Bags or Plastic Bags? 買い物には紙袋?ビニール袋? 意見を整理して述べる表現 文系SV0				Discussion: Role play task. (概ね40分)			
9	Unit5 Do We Need TV Broadcasting or Not? テレビは必要? 例を示す表現 現在分詞				Listen and talk. Listen for information (概ね40分)			
10	Unit5 Do We Need TV Broadcasting or Not? テレビは必要? 例を示す表現 過去分詞				Discussion: Role play task. (概ね40分)			
11	Unit6 Age-based or Performance-based? 給料は年功序列?実力主義? 自分の意見を切り出すための表現 文型SV00				Listen and talk. Listen for information (概ね40分)			
12	Unit6 Age-based or Performance-based? 給料は年功序列?実力主義? 自分の意見を切り出すための表現 文型SV0C				Discussion: Role play task. (概ね40分)			
13	Unit7 Buying Music Online or Buying CD? 音楽を買うならダウンロード?CD? 同意を示す表現 不定詞(名詞的用法, 形容詞的用法)				Listen and talk. Listen for information (概ね40分)			

回	授業計画	準備学修
14	Unit7 Buying Music Online or Buying CD? 音楽を買うならダウンロード?CD? 同意を示す表現 不定詞(副詞的用法)	Discussion: Role play task. (概ね40分)
15	Unit8 Living with Family or Living Alone? 卒業後は家族と住む?一人暮らし? 反対を示す表現 比較級	Listen and talk. Listen for information (概ね40分)
16	Unit8 Living with Family or Living Alone?卒業後は家族と住む?一人暮らし? 反対を示す表現 最上級	Discussion: Role play task. (概ね40分)
17	Unit9 Team Sports or Individual Sports? 観戦するなら団体競技?個人競技? 反論するための表現 動作受動態	Listen and talk. Listen for information (概ね40分)
18	Unit9 Team Sports or Individual Sports? 観戦するなら団体競技?個人競技? 反論するための表現 状態受動態	Discussion: Role play task. (概ね40分)
19	Unit10 Online Shopping or In-store Shopping? 買い物するならネット?実店舗?議論を深めるための表現 現在形	Listen and talk. Listen for information (概ね40分)
20	Unit10 Online Shopping or In-store Shopping? 買い物するならネット?実店舗?議論を深めるための表現 過去形	Discussion: Role play task. (概ね40分)
21	Unit11 Professional Training or Liberal Arts? 大学で学ぶなら実学?教養? 因果関係を述べる表現 現在, 過去進行形	Listen and talk. Listen for information (概ね40分)
22	Unit11 Professional Training or Liberal Arts? 大学で学ぶなら実学?教養? 因果関係を述べる表現 未来進行形	Discussion: Role play task. (概ね40分)
23	Unit12 Self-driving Cars or Human-driven Cars? 車に乗るなら自動運転?手動運転?誤解を解くための表現 現在完了形	Listen and talk. Listen for information (概ね40分)
24	Unit12 Self-driving Cars or Human-driven Cars? 車に乗るなら自動運転?手動運転?誤解を解くための表現 過去, 未来完了形	Discussion: Role play task. (概ね40分)
25	Unit13 Boxed Lunch or School Cafeteria? 学校で食べるならお弁当?学食? 相手が言ったことを確かめる表現 助動詞種類	Listen and talk. Listen for information (概ね40分)
26	Unit13 Boxed Lunch or School Cafeteria? 学校で食べるならお弁当?学食? 相手が言ったことを確かめる表現 助動詞特徴	Discussion: Role play task. (概ね40分)
27	Unit14 Manga or Novels? 物語を読むならマンガ?小説? 発言のチャンスを得るための表現 関係代名詞	Listen and talk. Listen for information (概ね40分)
28	Unit14 Manga or Novels? 物語を読むならマンガ?小説? 発言のチャンスを得るための表現 関係形容詞, 関係副詞	Discussion: Role play task. (概ね40分)
29	Unit15 More foreign Workers or Not? 日本人は外国人をもっと受け入れるべき?まとめ・結論を述べる表現 仮定法過去	Listen and talk. Listen for information (概ね40分)
30	Unit15 More foreign Workers or Not? 日本人は外国人をもっと受け入れるべき?まとめ・結論を述べる表現 仮定法過去完了	Discussion: Role play task. (概ね40分)
教科書	「In My Opinion 話して伸ばす発信型英語演習」 飯野厚 佐藤ヘザー ジョンソン他 金星堂	
参考文献	必要に応じて, 授業内で指示する。	
備考	クラス分けで実施する。	

※以下は該当者のみ記載する。

実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要, 実務経験と授業科目との関連性)

--

学修成果	1	2	3	4	5	科目ナンバリング				
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力	CE-2-EAD-01				
		●	●		●					
科目名	Oral Communication III				単位 認定者	ジョーンズ ドミニク		試験（筆記）	40 %	
対象学科 必修・選択 配当年次	現代英語学科	必修	2年	開講時期	後期	単位数	2 単位	評価の 方法	授業内課題	30 %
					授業形態	演習	授業時間数		60 時間	受講態度
						授業回数	30 回			
授業の概要	<p>「Oral Communication II」をさらに発展させ、日常の物事や時事問題などに関して、積極的に自分の意見を英語で表出することを目的とする。授業では、時事に関する視聴覚教材や読解教材を取り入れ、現代社会の事象に関する自身の考えやスタンスをも言語化できるようにする。グループディスカッションを多く取り入れ、メンバーが持ち回りで議長役を担い、グループの意見をまとめ、発表する。身近な話題に限らず、幅広い話題に関して、自分の考えを論理的かつ積極的に表現できる力を身につける。</p>									
到達目標	<p>将来のキャリアと継続教育に役立つような英語を駆使する自信をつけ、コミュニケーションに役立つ語彙や表現を修得する。</p>									
学修者への期待等	<p>授業には、テキスト、辞書（言語の学修に辞書は必須）、ノート、ファイル（授業で渡されたプリント等を整理できるもの）を必ず持参すること。また、授業の前に必ず予習しておくこと。具体的には、次の授業で学ぶであろう章に目を通し、分からない語彙があれば辞書で調べておくこと。Online WorkbookやAudio, visual material, できるだけ抵抗や苦勞なく内容理解が進められるようにしてください。</p>									
回	授業計画				準備学修					
1	本授業の進め方について、予習、復習、評価について、My Keynote Online登録 Making a Difference① Vocabulary				テキストの使い方Your guide to My Keynote Onlineに目を通すVideoを見ておく。 授業計画に対応するVocabularyの予習 (概ね1時間)					
2	Making a Difference② Language Focus Part 1 Past and present actions				Preparation for Language Focus Part 1の予習, My Keynote Online (概ね30分)					
3	Making a Difference③ Language Focus Part 2 Reviewing past and present actions				Preparation for Language Focus Part 2の予習, My Keynote Online (概ね30分)					
4	Making a Difference④ Speaking Task				My Keynote Online (概ね30分)					
5	Trends① Language Focus Part 1 Future trends				Vocabularyの予習, My Keynote Online (概ね30分)					
6	Trends② Language Focus Part 2 Review of future tenses				Language Focusの予習, My Keynote Online (概ね30分)					
7	Trends③ Speaking Task				My Keynote Online (概ね30分)					
8	Improving Lives① Language Focus Part 1 Cause and effect				Vocabularyの予習, My Keynote Online (概ね30分)					
9	Improving Lives② Language Focus Part 2 Conjunctions				Language Focusの予習, My Keynote Online (概ね30分)					
10	Improving Lives③ Speaking Task				My Keynote Online (概ね30分)					

回	授業計画	準備学修
11	Designing the Web① Language Focus Part 1 Comparing products and services	Vocabularyの予習, My Keynote Online (概ね30分)
12	Designing the Web② Language Focus Part 2 Comparatives and superlatives	Language Focusの予習, My Keynote Online (概ね30分)
13	Designing the Web③ Speaking Task	My Keynote Online (概ね30分)
14	プレゼンテーション (1) Presentation preparation	発表の準備をしてきてください: 概ね1時間。
15	プレゼンテーション (2) Presentation	
16	プレゼンテーション (3) Updated presentation incorporating feedback	発表の準備をしてきてください: 概ね1時間。
17	Community builders① Language Focus Part 1 How places have changed	Vocabularyの予習, My Keynote Online (概ね30分)
18	Community builders② Language Focus Part 2 Passive voice	Language Focusの予習, My Keynote Online (概ね30分)
19	Community builders③ Speaking Task	My Keynote Online (概ね30分)
20	Clear communication① Language Focus Part 1 Communication preferences	Vocabularyの予習, My Keynote Online (概ね30分)
21	Clear communication② Language Focus Part 2 Verb patterns infinite and gerund	Language Focusの予習, My Keynote Online (概ね30分)
22	Clear communication③ Speaking Task	My Keynote Online (概ね30分)
23	Identity① Language Focus Part 1 Ongoing actions and events	Vocabularyの予習, My Keynote Online (概ね30分)
24	Identity② Language Focus Part 2 Present perfect progressive	Language Focusの予習, My Keynote Online (概ね30分)
25	Identity③ Speaking Task	My Keynote Online (概ね30分)
26	Understanding emotions① Language Focus Part 1 Reporting other people's conversations	Vocabularyの予習, My Keynote Online (概ね30分)
27	Understanding emotions② Language Focus Part 2 Reported Speech	Language Focusの予習, My Keynote Online (概ね30分)
28	Understanding emotions③ Speaking Task	My Keynote Online (概ね30分)
29	プレゼンテーション (1) Presentation preparation	発表の準備をしてきてください: 概ね1時間。
30	プレゼンテーション (2) Presentation	
教科書	Keynote Student Book 3 with My Keynote Online. Paul Dummett, Helen Stephenson, Lewis Lansford and Richard Walker. National Geographic Cengage Learning.	
参考文献	特になし	
備考	授業担当者の違いや内容の進捗によってシラバスの内容を変更することがあります。	

※以下は該当者のみ記載する。

実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要, 実務経験と授業科目との関連性)

--

学修成果	1	2	3	4	5	科目ナンバリング				
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力	CE-2-EAD-03				
		●			●					
科目名	Media English				単位 認定者	スミス アンソニー		評価の方法	小テスト	80 %
対象学科 必修・選択 配当年次	現代英語学科	必修	2年	開講時期	前期	単位数	2 単位		受講態度	20 %
				授業形態	演習	授業時間数	30 時間			
						授業回数	15 回			
授業の概要	<p>本科目は、英語ニュースや英字新聞などを題材として、時事問題に関する英語語彙、英語表現の獲得を目的とする。メディア英語に特有の文法事項、表現や略語等についても学ぶ。</p> <p>題材としては、BBCやCNNなどの実際のニュース映像を用い、語彙や表現を身につけるだけではなく、リスニングスキルの向上を図っていく。世界の最新ニュースへの関心を高めることも付随した目標である。これに加え、学生が興味をもつニュースや話題なども取り上げていき、選んだ題材を様々な形式で発表することで、学びを深めていく。</p>									
到達目標	<p>世界の最新ニュースへの関心を高めることも付随した目標である。これに加え、学生が興味をもつニュースや話題なども取り上げていき、選んだ題材を様々な形式で発表することで、学びを深めていく。</p>									
学修者への期待等	<p>授業には、テキスト、辞書（言語の学修に辞書は必須）、ノート、ファイル（授業で渡されたプリント等を整理できるもの）を必ず持参すること。また、授業の前に必ず予習しておくこと。具体的には、次の授業で学ぶであろう章に目を通し、分からない語彙があれば辞書で調べておくこと。</p>									
回						準備学修				
1	Story1 Legacy of Captain Mariner 女性の道を切り開いた海軍パイロット					全てのエクササイズ、およびディスカッションの準備（概ね40分）				
2	Story2 America Strong:Foster Grandparents 小学校で活躍するシニアたち					全てのエクササイズ、およびディスカッションの準備（概ね40分）				
3	Story3 Weapons Ban in New Zealand ニューゼaland、銃規制へ					全てのエクササイズ、およびディスカッションの準備（概ね40分）				
4	Story4 Sumo Diplomacy トランプ大統領をおもてなし					全てのエクササイズ、およびディスカッションの準備（概ね40分）				
5	Story5 American ISIS Bride 帰国を望むイスラム国の花嫁たち					全てのエクササイズ、およびディスカッションの準備（概ね40分）				
6	Story6 Milestone Mission:Virgin Galactic 宇宙旅行時代に向けて					全てのエクササイズ、およびディスカッションの準備（概ね40分）				
7	Story7 Notre Dame Cathedral: Full Damage Revealed ノートルダム寺院の現状					全てのエクササイズ、およびディスカッションの準備（概ね40分）				
8	Story8 Three-year-old Boy fighting Cancer 病と闘う3歳児の治療方法をめぐって					全てのエクササイズ、およびディスカッションの準備（概ね40分）				
9	Story9 Journey to the Edge クジラの生態から見る地球環境					全てのエクササイズ、およびディスカッションの準備（概ね40分）				
10	Story10 Special Olympics Funding Furor オリンピック予算カットか？					全てのエクササイズ、およびディスカッションの準備（概ね40分）				
11	Story11 American Heroes in Vietnam ベトナム戦争の英雄たちが再会					全てのエクササイズ、およびディスカッションの準備（概ね40分）				
12	Story12 Measles Outbreak Quarantine in L.A. はしか汚染、全米で広がる					全てのエクササイズ、およびディスカッションの準備（概ね40分）				
13	Story13 Mayors Challenge Trump. 市長たち、政府の移民政策に立ち向かう					全てのエクササイズ、およびディスカッションの準備（概ね40分）				
14	Story14 Columbine:20 Years Later コロンバイン事件を悼む人々					全てのエクササイズ、およびディスカッションの準備（概ね40分）				
15	Story15 College Scandal Shock Waves 名門大学で裏口入学					全てのエクササイズ、およびディスカッションの準備（概ね40分）				
教科書	「映像で学ぶABCワールドニュース2」 山根繁, Kathleen Yamane 金星堂									
参考文献	授業内で随時指示									
備考										

※以下は該当者のみ記載する。

実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)

--

学修成果	1	2	3	4	5	科目ナンバリング		
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力	CE-2-EAD-07		
		●		●	●			
科目名	英語文学講読				単位 認定者	金井 典子		評価の方法 試験 (レポート) 30 % 授業内課題 70 %
対象学科 必修・選択 配当年次	現代英語学科	選択	2年	開講時期	前期	単位数	2 単位	
				授業形態	演習	授業時間数	30 時間	
						授業回数	15 回	
授業の概要	英語圏で書かれた文学作品を通して、文化や文学世界への興味と関心を広めることを目的とする。学生にとって読みやすく馴染みがあると思われる文学作品を数点取り上げ、その作家の生きた時代や社会背景を学ぶ。原典または簡易版を利用して、内容を読解、鑑賞し、意見交換等を行う。それにより、文学作品の読み方や楽しみ方を学ぶ。内容理解の発展として、映像等の翻案作品を鑑賞し、作品の受容について考える。生涯にわたって読書を楽しむ姿勢を養う。							
到達目標	1. 扱う作家と作品についての概要を理解できる。 2. 作品内容を理解し、自分の感想や意見を持ち表現することができる。 3. 責任を持って課題に取り組み、成果を示すことができる。							
学修者への期待等	準備学習に記載の課題を行っていることを前提に授業を行う。積極的な学修姿勢を期待する。							
回	授業計画				準備学修			
1	授業の進め方・ルールについて 作家Oscar Wildeと作品Happy Princeについて（講義）				次週のためにVocabulary Sectionを完成させておく。（概ね10分程度）			
2	Happy Prince Part 1 (Listening, Reading, What do you think?) 個人ワークと意見交換ディスカッション				予習としてVocabulary section を完成させておく。（概ね10分程度） 復習として巻末のHomework sheetの完成とVocabulary Listで語彙学習を行う。（概ね60分程度）			
3	Happy Prince Part 2 (Listening, Reading, What do you think?) 個人ワークと意見交換ディスカッション。原文に触れる				復習として巻末のHomework sheetの完成とVocabulary Listで語彙学習を行う。（概ね60分程度）			
4	グループワーク：Happy Princeのポスタープレゼンテーション 準備				プレゼンテーションのためにグループで準備と練習を行う（概ね30分程度）			
5	グループワーク：Happy Princeのポスタープレゼンテーション発表と意見交換							
6	作家William Shakespeareと作品Twelfth Nightについて（講義）				予習としてShakespeare作品の有名なセリフを5つ調べてくる。（概ね30分程度）次週のために、Twelfth NightのVocabulary Sectionを完成させておく。（概ね10分程度）			
7	Twelfth Night Part 1 (Listening, Reading, What do you think?) 個人ワークと意見交換ディスカッション□				予習としてVocabulary section を完成させておく。（概ね10分程度） 復習として巻末のHomework sheetの完成とVocabulary Listで語彙学習を行う。（概ね60分程度）			
8	Twelfth Night Part 2 (Listening, Reading, What do you think?) 個人ワークと意見交換ディスカッション 原文に触れる□				予習としてVocabulary section を完成させておく。（概ね10分程度） 復習として巻末のHomework sheetの完成とVocabulary Listで語彙学習を行う。（概ね60分程度）			
9	Twelfth Night Part 3 (Listening, Reading, What do you think?) 個人ワークと意見交換ディスカッション。翻案の世界観□				予習としてVocabulary section を完成させておく。（概ね10分程度） 復習として巻末のHomework sheetの完成とVocabulary Listで語彙学習を行う。（概ね60分程度）			
10	Twelfth Night 映画版による翻案作品の鑑賞と意見交換ディスカッション							
11	Twelfth Night RSCによる舞台映像の鑑賞と意見交換ディスカッション				レポートをまとめる。（概ね60分程度）			
12	作家Mark Twainと作品A Connecticut Yankee in King Arthur's Courtについて（講義）				予習として、アーサー王伝説について調べてくる。（概ね30分程度）			
13	A Connecticut Yankee. Part 1 (Listening, Reading, What do you think?) 個人ワークと意見交換ディスカッション□				予習としてVocabulary section を完成させておく。（概ね10分程度） 復習として巻末のHomework sheetの完成とVocabulary Listで語彙学習を行う。（概ね60分程度）			
14	A Connecticut Yankee. Part 2 (Listening, Reading, What do you think?) 個人ワークと意見交換ディスカッション原文に触れる□				予習としてVocabulary section を完成させておく。（概ね10分程度） 復習として巻末のHomework sheetの完成とVocabulary Listで語彙学習を行う。（概ね60分程度）			
15	A Connecticut Yankee. Part 3 (Listening, Reading, What do you think?) 個人ワークと意見交換ディスカッション 後半部分のサマリー□				予習としてVocabulary section を完成させておく。（概ね10分程度） 復習として巻末のHomework sheetの完成とVocabulary Listで語彙学習を行う。（概ね60分程度）			
教科書	「Story Box: Gifts from Great Tellers.」 Atsuko Uemura Cengage Learning							
参考文献	授業時に適宜紹介する。							
備考	語彙学習にはQuizletを使用する。							
※以下は該当者のみ記載する。								
実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)								

学修成果	1	2	3	4	5	科目ナンバリング			
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力	CE-2-EAD-08			
		●	●		●				
科目名	English for Tourism				単位認定者	金井 典子		試験(レポート) 30 %	
対象学科 必修・選択 配当年次	現代英語学科	選択	2年	開講時期	前期	単位数	2 単位	評価の方法	授業内課題 70 %
					授業形態	演習	授業時間数		30 時間
							授業回数		15 回
授業の概要	<p>本科目の目的は、近年増加の一途を辿っている訪日観光客に対応するための英語力及びコミュニケーション能力を培うことである。空港や駅、ホテル、商業施設など、観光・旅行などの現場で必要とされる英単語や英語表現を学ぶ。また、旅行時の病気・けが等に対応するための表現も学習する。特に、リスニング力とスピーキング力を向上させ、世界の様々な地域からの観光客に対応できることを企図する。観光案内等のロールプレイングも取り入れ、実践的に学習する。</p>								
到達目標	<p>1. 観光に関する表現・語彙を理解し、観光英検2級レベルの問題に対応することができる。 2. インバウンドツーリズムに関心を持ち、日々のニュース等から、自ら知識や興味の幅を広げることができる。</p>								
学修者への期待等	<p>学修成果の確認として、観光英語検定の受験を薦める。 受け身ではなく積極的に学修し、テキスト外の事象にも関心を持つことを期待する。</p>								
回	授業計画				準備学修				
1	授業の進め方(予習・復習)の確認 Unit 1(旅行情報)の学修:リスニング,リーディング,和英翻訳。				復習としてVocabulary to Remember を覚えてくる(概ね40分程度)。				
2	Unit 2(空港にて)の学修:ダイアログ,リスニング,リーディング,和英翻訳				復習としてVocabulary to Remember を覚えてくる(概ね40分程度)。				
3	Unit 3(ホテル)の学修:ロールプレイ,リスニング,リーディング,和英翻訳				復習としてVocabulary to Remember を覚えてくる(概ね40分程度)。				
4	観光英語検定2級の過去問題に挑戦する。(2018年度問題)								
5	Unit 4(食事)の学修:ロールプレイ,リスニング,リーディング,和英翻訳				復習としてVocabulary to Remember を覚えてくる(概ね40分程度)。				
6	Unit 5(道案内)の学修:ロールプレイ,リスニング,リーディング,和英翻訳				復習としてVocabulary to Remember を覚えてくる(概ね40分程度)。				
7	Unit 6(バスと電車)の学修:ダイアログ,リスニング,リーディング,和英翻訳				復習としてVocabulary to Remember を覚えてくる(概ね40分程度)。				
8	Unit 1~ Unit 6のTravemaniaから観光情報を発表する。								
9	観光英語検定2級の過去問題に挑戦する。(2019年度問題)								
10	Unit 7(郵便と両替)の学修:ダイアログ,リスニング,リーディング,和英翻訳				復習としてVocabulary to Remember を覚えてくる(概ね40分程度)。				
11	Unit 8(観光-1)の学修:リスニング,リーディング,和英翻訳				復習としてVocabulary to Remember を覚えてくる(概ね40分程度)。				
12	Unit 9(観光-2)の学修:リスニング,リーディング,和英翻訳				復習としてVocabulary to Remember を覚えてくる(概ね40分程度)。				
13	Unit 10(トラブルと苦情)の学修:ダイアログ,リスニング,リーディング,和英翻訳				復習としてVocabulary to Remember を覚えてくる(概ね40分程度)。				
14	Unit 11(ツアーコンダクターの職務)の学修:リスニング,リーディング				復習としてVocabulary to Remember を覚えてくる(概ね40分程度)。				
15	Unit 12(日本の観光)の学修:ダイアログ,リスニング,リーディング				復習としてVocabulary to Remember を覚えてくる(概ね40分程度)。				
教科書	「English for Tourism: Intermediate. ステップアップ観光英語」 観光英検センター編 三修社								
参考文献	授業時に紹介する。								
備考	各回の単語学修にはQuizletを使用する。								

※以下は該当者のみ記載する。

実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要,実務経験と授業科目との関連性)

--

学修成果	1	2	3	4	5	科目ナンバリング		
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力	CE-2-EAD-11		
		●	●	●	●			
科目名	Drama English				単位認定者	金井 典子		試験 (レポート) 40 % 授業内課題 30 % 参加態度 30 %
対象学科 必修・選択 配当年次	現代英語学科	選択	2年	開講時期	後期	単位数	2 単位	
				授業形態	演習	授業時間数	30 時間	
						授業回数	15 回	
授業の概要	今まで学習した英語コミュニケーション力を総合的に活用して、リーディングシアター、ショートプレイ、ミュージカルパフォーマンス等、英語でのパフォーマンスを作成し、発信することを目的とする。パフォーマンスを作成する際には、聴衆を意識し、いかに伝えるかということを考えることが必要であり、コミュニケーションの学びを深めることとなる。併せて、人前で英語で演技をすることで、英語を話すことへの自信をつけることにもつながる。大人数で一つのパフォーマンスを作り上げることに、チームで協力する姿勢も培う。							
到達目標	1. 英語演劇に取り組むことで、英語による表現力を鍛え、発表することができる。 2. 履修生全員で一つの作品を作り上げることで、チームで働く力、意思決定の方法を身につける。 3. オリンピックの歴史を知り、背景知識を深める。							
学修者への期待等	15回の授業以外にも、準備や練習に自主的に取り組み、完成度を高める意気込みを持ってほしい。達成感のあるプロジェクトにするため、チームで結束する協調性を示すことを期待する。							
回	授業計画				準備学修			
1	授業の進め方、履修にあたっての心構え Drama Activity							
2	Jesse Owensおよび1936年ベルリンオリンピックについての発表。Script(Jesse Owens)の読解				予習として、Jesse Owens, 1936年ベルリンオリンピックについて調べてくる(概ね30分程度)。			
3	Script(Jesse Owens)の読解および内容についての意見交換							
4	舞台化のアイデア出し、グループディスカッション				予習として、Scriptを読み直し、舞台化するためのイメージを書き出してくる(概ね30分程度)。			
5	舞台化への役割決め(演者と裏方)、グループディスカッション							
6	Script(Jesse Owens)の音読、プロソディ学修							
7	Script(Jesse Owens)のStage Directionを決める。グループディスカッション				予習として、ディレクターの視点で、舞台構成を考えてくる(概ね30分程度)。			
8	Props, Costumes, Soundの決定、準備、グループディスカッション				予習として、舞台に必要な道具・衣装・音響等を考えてくる(概ね30分程度)。			
9	セリフ合わせ(演者) Props, Costumes, Sound 準備(裏方)				予習として、演者はセリフの表現方法の工夫、裏方は準備を進める(概ね30分程度)			
10	Stagingでのセリフ合わせ(演者) Props, Costumes, Sound 準備(裏方)				予習として、個々の役割を完成形に近づける(概ね30分程度)。			
11	通し稽古：問題点を見つける グループディスカッション				予習として、個々の役割を完成形に近づける(概ね30分程度)。			
12	修正点の改善：通し稽古からの修正をほどこす。				予習として、個々の役割を完成形に近づける(概ね30分程度)。			
13	リハーサル：本番を想定した通し稽古をする。				予習として、個々の役割を完成形に近づける(概ね30分程度)。			
14	発表：学内から観客を招き、発表する。							
15	振り返り：Drama制作と英語学修について グループディスカッションと発表							
教科書	handoutを利用する。“JESSE OWEN: Olympic Champion” EFL Drama Resourcesより							
参考文献	授業時に適宜指示する。							
備考	アクティビティが多いので、常に動きやすい服装で参加する。							
※以下は該当者のみ記載する。								
実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)								

学修成果	1	2	3	4	5	科目ナンバリング				
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力	CE-3-RCO-02				
			●		●					
科目名	マーケティング				単位認定者	小形 美樹		試験（筆記）	70 %	
対象学科 必修・選択 配当年次	現代英語学科	選択	2年	開講時期	前期	単位数	2 単位	評価の方法	受講態度	30 %
	観光ビジネス学科	必修	1年			授業時間数	30 時間			
				授業形態	講義	授業回数	15 回			
授業の概要	「4P」といわれるプロダクト、プライス、プレイス、プロモーションを中心としたマーケティング・ミックスの考え方や、ビジネスの環境変化に対応した新しいマーケティングの方法を学ぶ。また、生産と消費を結ぶ流通がどのような機能と役割を担っているのかを、小売業を中心に学ぶ。									
到達目標	消費者として企業のマーケティング活動の内容を知り、普段の生活と企業の関わりについて身近な問題として捉える力を習得する。									
学修者への期待等	「マーケティング」を学ぶことにより、消費者として市場をみつめる目も養われる。日常生活の中でも、商品やサービスがどのような販売戦略によって市場に導入されているかなどについて考えるようにし、理論と実務の両面から「マーケティング」を捉えるようにしてほしい。									
回	授業計画				準備学修					
1	マーケティングとは何か				復習として、マーケティングとは何かについて整理をしておいてください。（1時間程度）					
2	STP(1) セグメンテーションとターゲティング				復習として、セグメンテーションとターゲティングについて整理をしておいてください。（1時間程度）					
3	STP(2) ポジショニング				復習として、ポジショニングについて整理をしておいてください。（1時間程度）					
4	4つのP(1) Product〈製品〉				復習として、製品について整理をしておいてください。（1時間程度）					
5	4つのP(2) Price〈価格〉				復習として、価格政策について整理をしておいてください。（1時間程度）					
6	4つのP(3) Place〈流通チャネル〉				復習として、流通チャネルについて整理をしておいてください。（1時間程度）					
7	4つのP(4) Promotion〈販売促進〉				復習として、販売促進について整理をしておいてください。（1時間程度）					
8	具体例で考えるSTPと4つのP				復習として、STPと4Pについて整理をしておいてください。（1時間程度）					
9	売り手・買い手の力関係、業界内の競争関係				復習として、売り手・買い手の力関係、業界内の競争関係について整理をしておいてください。（1時間程度）					
10	消費者行動				復習として、消費者行動について整理をしておいてください。（1時間程度）					
11	eコマース				復習として、eコマースについて整理をしておいてください。（1時間程度）					
12	サービス業のマーケティング				復習として、サービス業のマーケティングについて整理をしておいてください。（1時間程度）					
13	法律と政策の関与				復習として、法律と政策について整理をしておいてください。（1時間程度）					
14	ソーシャル・マーケティング				復習として、ソーシャル・マーケティングについて整理をしておいてください。（1時間程度）					
15	マーケティング・コミュニケーション				復習として、マーケティング・コミュニケーションについて整理をしておいてください。（1時間程度）					
教科書	第1回～第14回：「プレステップマーケティング〈新版〉」 丸山正博著 弘文堂 第15回：資料配布									
参考文献	「わかりやすいマーケティング戦略 新版」 沼上幹著 有斐閣アルマ 「現代マーケティング論」 高嶋克義・桑原秀史著 有斐閣アルマ									
備考										
※以下は該当者のみ記載する。										
実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)										

科目ナンバリング

TB-1-FCO-04

学修成果	1	2	3	4	5					
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力					
	●	●		●	●					
科目名	観光ビジネス論				単位 認定者	成澤 広幸		評価の 方法	試験 (Web)	45 %
対象学科 必修・選択 配当年次	現代英語学科	選択	2年	開講時期	前期	単位数	2 単位		授業内課題	45 %
	観光ビジネス学科	必修	1年			授業時間数	30 時間		受講態度	10 %
				授業形態	講義	授業回数	15 回			
授業の概要	観光事業は、観光政策のように国や地方公共団体などが公共目的で実施するマクロ的なものと、個々の企業や組織が営利または非営利の目的をもって行うミクロ的なものとに分けられる。本科目では、企業や組織の営む観光ビジネスの全体像について概観する。具体的には、観光ビジネスの基本である移動と宿泊、観光地での諸活動、それらの仲介サービスにおいて、それらの企業や組織がいかなるビジネスモデルに則って事業活動を展開しているかについて、豊富な事例研究を交えながら理解を深める。									
到達目標	様々な組織や団体の観光事業について概略を理解し、社会との関わりの中でどのような役割を果たしているのかを説明できるようになる。									
学修者への期待等	観光ビジネスは個別の観光活動が対象ですが、難しく考えないで、身近な観光キャンペーンや地域おこしなどで観光が果たしている役割を考えれば、この授業はわかりやすくなります。									
回	授業計画				準備学修					
1	観光ビジネスのマネジメント特性：TDRのマネジメント				TDRのマネジメントのどこが優れているのかを考えておいてください。 予習：概ね20分。復習：概ね20分。					
2	観光ビジネスのイノベーション。事例：楽天トラベル				旅行業における販売方法の進化について理解しておいてください。 予習：概ね20分。復習：概ね20分。					
3	観光ビジネスのグローバル経営。事例：H. I. S.				H. I. S. の海外戦略について理解しておいてください。 予習：概ね20分。復習：概ね20分。					
4	観光のマーケティング。事例：下関観光コンベンション協会				地域の観光マーケティングを事例に則して考えておいてください。 予習：概ね20分。復習：概ね20分。					
5	観光とWebビジネス。事例：エクスペディア				エクスペディアのマーケティングの特徴を理解しておいてください。 予習：概ね20分。復習：概ね20分。					
6	旅行業。事例：JTB				JTBの変貌についてしっかり理解しておいてください。 予習：概ね20分。復習：概ね20分。					
7	宿泊業。事例：星野リゾート				星野リゾートの方向性をよく理解しておいてください。 予習：概ね20分。復習：概ね20分。					
8	航空輸送業。事例：ANA				レベニュー・マネジメントの例をもっと考えておいてください。 予習：概ね20分。復習：概ね20分。					
9	鉄道ビジネス。事例：JR九州				JR九州の活躍の理由を考えておいてください。 予習：概ね20分。復習：概ね20分。					
10	テーマパーク。事例：ハウステンボス				なぜリピーターになるのかを考えておいてください。 予習：概ね20分。復習：概ね20分。					
11	グローバル時代の地域観光インフラ。事例：統合型リゾート (IR)				IRの必要性について考えておいてください。 予習：概ね20分。復習：概ね20分。					
12	地域のインバウンド事業。事例：九州オルレ				なぜ九州オルレが成功したか考えておいてください。 予習：概ね20分。復習：概ね20分。					
13	地域の観光まちづくり事業。事例：長崎県小値賀島				故郷で観光を軸とした地域おこしをすれば何が必要かを考えておいてください。 予習：概ね20分。復習：概ね20分。					
14	地域ブランドの構築。事例：宇都宮市				事例を参考に故郷の地域ブランドは何かを考えておいてください。 予習：概ね20分。復習：概ね20分。					
15	新しい旅行スタイル：進化する旅行者ニーズと観光創造				日本内外の観光行動についてのニュース、話題などに注意しておいてください。 予習：概ね20分。復習：概ね20分。					
教科書	特になし									
参考文献	高橋一夫その他『1からの観光事業論』碩学社。高橋一夫その他『1からの観光』碩学社。北川宗忠『現代の観光事業』ミネルヴァ書房。長谷政弘『観光ビジネス論』同友館。									
備考	原則として事前にLMSに授業ファイルをアップロードするので、それを見ながら事前学修及び復習をしてください。LMSなどで課題の提出を行う予定です。									

※以下は該当者のみ記載する。

実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要,実務経験と授業科目との関連性)

学修成果	1	2	3	4	5
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力
	●	●	●		

科目ナンバリング
CE-4-ESE-06

科目名	英語特別演習Ⅱ			単位 認定者	相田 明子		評価 の方法	試験(筆記)	40 %	
対象学科 必修・選択 配当年次	現代英語学科	自由	2年	開講時期	通年	単位数		2 単位	授業内課題等	30 %
						授業時間数		30 時間	受講態度	30 %
				授業形態	演習	授業回数		15 回		

授業の概要
「英語特別演習Ⅰ」の継続演習として、リスニング、リーディング、文法、語彙に関するスキルを強化し、総合的に英語力を向上させることを目的とする。
英語力を強化していくなかで、自分のレベルを確認し、弱点は何かを理解したうえで学習することは、効果的な方法であり、モチベーションを高めることができる。そのため、外部試験（TOEIC、英検、観光英検等）の問題も教材として取り入れ、客観的に各自の英語力を評価し、「話す」「聞く」「読む」「書く」の4技能のさらなる向上を目指す。

到達目標
学生は基礎的な英語力とテストスキルを身につけ、授業中に学修したことをTOEIC®公開テストで活用、応用することができる。

学修者への期待等
授業の予習復習を行うこと。電子辞書、辞書アプリを用意すること。各自で公式TOEIC®の試験の申し込みを行い、受講後に自分の英語力を確認することを強く勧める。

回	授業計画	準備学修
1	導入, TOEIC®Part1 TEST1 問題演習と解説	単語の復習と課題を行うこと。(1.5時間程度)
2	前回の復習, TOEIC®Part2 TEST1 問題演習と解説	単語の復習と課題を行うこと。(1.5時間程度)
3	前回の復習, TOEIC®Part3 TEST1 問題演習と解説	単語の復習と課題を行うこと。(1.5時間程度)
4	前回の復習, TOEIC®Part4 TEST1 問題演習と解説	単語の復習と課題を行うこと。(1.5時間程度)
5	前回の復習, TOEIC®Part5 TEST1 問題演習と解説	単語の復習と課題を行うこと。(1.5時間程度)
6	前回の復習, TOEIC®Part6 TEST1 問題演習と解説	単語の復習と課題を行うこと。(1.5時間程度)
7	前回の復習, TOEIC®Part7 TEST1 問題演習と解説	単語の復習と課題を行うこと。(1.5時間程度)
8	まとめ 【テストテクニックを復習し、模試練習と解説】	今までに学修したことを復習すること。(3時間程度)
9	前回の復習, TOEIC®Part1 TEST2 問題演習と解説 英文を聞いて適切なイラストを選ぶ練習	単語の復習と課題を行うこと。(1.5時間程度)
10	前回の復習, TOEIC®Part2 TEST2 問題演習と解説 適切な会話の受け答えを選ぶ練習	単語の復習と課題を行うこと。(1.5時間程度)
11	前回の復習, TOEIC®Part3 TEST2 問題演習と解説 英会話の内容を聞いて、内容を理解する練習	単語の復習と課題を行うこと。(1.5時間程度)
12	前回の復習, TOEIC®Part4 TEST2 問題演習と解説 モノログを聞いて、内容を理解する練習	単語の復習と課題を行うこと。(1.5時間程度)
13	前回の復習, TOEIC®Part5 TEST2 問題演習と解説 文法問題の練習	単語の復習と課題を行うこと。(1.5時間程度)
14	前回の復習, TOEIC®Part6 TEST2 問題演習と解説 文法問題(応用)の練習	単語の復習と課題を行うこと。(1.5時間程度)
15	前回の復習, TOEIC®Part7 TEST2 問題演習と解説 長文読解の練習	単語の復習と課題を行うこと。(1.5時間程度)
教科書	授業で適宜配布する。	
参考文献	「公式 TOEIC Listening & Reading 問題集 5」 Educational Testing ETS 「TOEIC® L&R TEST 出る単特急金のフレーズ」 TEX加藤 朝日新聞出版 【新形式問題対応】「TOEIC(R)テスト 中学英文法で600点!」 小石 裕子 アルク	
備考	シラバスの内容は授業の進行状況によって変更する場合がある。	

※以下は該当者のみ記載する。

実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)
--

学修成果	1	2	3	4	5	科目ナンバリング			
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力	CE-4-ESE-06			
	●	●	●						
科目名	英語特別演習Ⅱ				単位認定者	小松 義隆		試験(筆記)	40 %
対象学科 必修・選択 配当年次	現代英語学科	自由	2年	開講時期	通年	単位数	2 単位	授業内課題等	30 %
						授業形態	演習	授業時間数	30 時間
							授業回数	15 回	
授業の概要	<p>「英語特別演習Ⅰ」の継続演習として、リスニング、リーディング、文法、語彙に関するスキルを強化し、総合的に英語力を向上させることを目的とする。</p> <p>英語力を強化していくなかで、自分のレベルを確認し、弱点は何かを理解したうえで学習することは、効果的な方法であり、モチベーションを高めることができる。そのため、外部試験（TOEIC、英検、観光英検等）の問題も教材として取り入れ、客観的に各自の英語力を評価し、「話す」「聞く」「読む」「書く」の4技能のさらなる向上を目指す。</p>								
到達目標	<p>学生は授業中の様々な試験対策問題を通し、基礎的な英語力とテストスキルを身につけ、授業中に学修したことをTOEIC®や英検などの外部試験で活用することができる。</p>								
学者への期待等	<p>授業の予習復習を行うこと。特に予習時は実際の試験時に各問題に割り当てる時間を意識しながら、辞書を使わずに解いてみる。さらに授業時は電子辞書などを必ず用意すること。各自で英検の試験の申し込みを行い、受講後に自分の英語力を確認することを強く勧める。内容は「英語特別演習Ⅰ（英検）」と重複する部分があるので1年時に英検クラスを選択しなかった学生が受講することが望ましい。</p>								
回	授業計画				準備学修				
1	授業の導入 2016年度 第3回英検2級過去問題演習① (問題1～3A)				テキストを購入し授業計画の内容を事前に行っておくこと(1時間程度)				
2	2016年度 第3回英検2級過去問題演習② (問題3B, 3C)				授業計画の内容を事前に行っておくこと、獲得した語彙や表現を記録し復習を行うこと。(1時間程度)				
3	2017年度 第1回英検2級過去問題演習① (問題1～3A)				授業計画の内容を事前に行っておくこと、獲得した語彙や表現を記録し復習を行うこと。(1時間程度)				
4	2017年度 第1回英検2級過去問題演習② (問題3A～3C)				授業計画の内容を事前に行っておくこと、獲得した語彙や表現を記録し復習を行うこと。(1時間程度)				
5	2017年度 第2回英検2級過去問題演習① (問題1～3A)				授業計画の内容を事前に行っておくこと、獲得した語彙や表現を記録し復習を行うこと。(1時間程度)				
6	2017年度 第2回英検2級過去問題演習② (問題3A～3C)				授業計画の内容を事前に行っておくこと、獲得した語彙や表現を記録し復習を行うこと。(1時間程度)				
7	2017年度 第3回英検2級過去問題演習① (問題1～3A)				授業計画の内容を事前に行っておくこと、獲得した語彙や表現を記録し復習を行うこと。(1時間程度)				
8	2017年度 第3回英検2級過去問題演習② (問題3A～3C)				授業計画の内容を事前に行っておくこと、獲得した語彙や表現を記録し復習を行うこと。(1時間程度)				
9	2018年度 第1回英検2級過去問題演習① (問題1～3A)				授業計画の内容を事前に行っておくこと、獲得した語彙や表現を記録し復習を行うこと。(1時間程度)				
10	2018年度 第1回英検2級過去問題演習② (問題3A～3C)				授業計画の内容を事前に行っておくこと、獲得した語彙や表現を記録し復習を行うこと。(1時間程度)				
11	2018年度 第2回英検2級過去問題演習① (問題1～3A)				授業計画の内容を事前に行っておくこと、獲得した語彙や表現を記録し復習を行うこと。(1時間程度)				
12	2018年度 第2回英検2級過去問題演習② (問題3A～3C)				授業計画の内容を事前に行っておくこと、獲得した語彙や表現を記録し復習を行うこと。(1時間程度)				
13	2018年度 第2回英検準1級過去問題演習① (問題1～2-1)				授業計画の内容を事前に行っておくこと、獲得した語彙や表現を記録し復習を行うこと。(1時間程度)				
14	2018年度 第2回英検準1級過去問題演習② (問題2-2～3-1)				授業計画の内容を事前に行っておくこと、獲得した語彙や表現を記録し復習を行うこと。(1時間程度)				
15	2018年度 第2回英検準1級過去問題演習③ (問題3-2, 3-3)				授業計画の内容を事前に行っておくこと、獲得した語彙や表現を記録し復習を行うこと。(1時間程度)				
教科書	「2019年度版 英検 2級 過去6回全問題集」旺文社英検書 2019								
参考文献	「2019年度版 英検 準1級 過去6回全問題集」旺文社英検書 2019								
備考									

※以下は該当者のみ記載する。

実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)

--